

<会議資料>

平成24年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成24年8月29日)

平成24年度(第1回)練馬区立美術館運営協議会 資料目次

1. 練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
2. 練馬区立美術館運営協議会条例	2
3. 平成23年度 事業報告	
(1) 展覧会事業	
平成23年度 展覧会事業日程および観覧者数	4
平成23年度 企画展・コレクション展関連事業	6
平成23年度 広報活動と反響	8
(2) 教育普及事業	
平成23年度 教育普及事業実績	12
平成23年度 博物館実習受入実績	19
平成23年度美術館サポーター活動実績	20
(3) 美術作品の収集事業	
美術作品の収蔵状況	21
平成23年度 美術作品取得状況	22
平成23年度 収蔵品貸出一覧	31
平成23年度 美術館収蔵品データベースに対する反響	32
(4) 施設利用状況	
平成23年度 施設利用状況	33
(5) ぐるっとパスの利用状況	
平成23年度ぐるっとパスの利用状況	34
4. 平成24年度 事業計画	
(1) 展覧会事業	
平成24年度 展覧会事業日程(案)	35
鹿島茂コレクション2 ハルピエ×ラブルール展	36
平澤熊一展	37
N+N展2012 触れる 感覚のレッスン	38
特別展 生誕100年 船田玉樹展	39
「棚田康司 たちのぼる。」展	40
人間国宝大坂弘道展	41
超然孤独の風流遊技 小林猶治郎展	42
富田由紀子展(仮称)	43
(2) 教育普及事業	
平成24年度 教育普及事業計画(案)	44
5. 今後の展覧会について	47
6. 美術の森緑地の整備について	49

第14期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成24年8月29日現在

		氏 名	役 職	
学識経験者	委員	栗 津 則 雄	文芸評論家	
	委員	高 橋 幸 次	日大芸術学部美術学科教授	
	委員	青 木 茂	文星芸術大学教授	
	委員	伊豆井 秀 一	埼玉県立近代美術館 専門員兼学芸員	
	委員	大 橋 皓 也	洋画家	
	委員	佐 藤 康 宏	東京大学教授	
	委員	松 本 透	東京国立近代美術館副館長	
	委員	井 出 洋一郎	府中市美術館館長	
練馬区議会 議員	委員	小 川 けいこ	区議会議員	
	委員	米 沢 ちひろ	区議会議員	
	委員	松 村 良 一	区議会議員	
	委員	土 屋 としひろ	区議会議員	
公募区民	委員	中 島 悠 子	公募区民	
	委員	安 斉 紀 子	公募区民	
	委員	畑 浩 二	公募区民	
美術関係者	委員	伊 藤 定 夫	練馬・文化美術の会代表	
	委員	宮 澤 歳 男	練馬区美術家協会副会長	
学校教育関係者	委員	堀 井 安 伸	石神井東中学校長	
	委員	吾 妻 彰	谷原小学校教諭	

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和 60 年 10 月 8 日

条例第 45 号

(設置)

第 1 条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第 3 条 協議会は、委員 19 人以内をもって組織する。

(委員)

第 4 条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8 人以内
- (2) 練馬区議会議員 4 人以内
- (3) 区民 3 人以内
- (4) 美術団体関係者 2 人以内
- (5) 学校教育関係者 2 人以内

2 前項第 3 号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第 6 条 協議会に会長および副会長を各 1 人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則 この条例は、公布の日から施行する。

付 則 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

平成23年度事業報告

(1) 展覧会事業

平成23年度 展覧会事業日程および観覧者数

企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
(2月23日(火)) ～4月10日(日)	鹿島茂コレクション1(22～23企画展) グランヴィル 19世紀フランス幻想版画	9	1,800 (200)	3,432 (381)	190.7%
4月16日(土) ～5月29日(日)	PLATFORM2011(23企画展) 浜田涼、小林耕平、飯島大輔 距離をはかる	38	3,100 (82)	2,384 (63)	76.9%
6月23日(木) ～7月3日(日)	N+N2011(練馬区立美術館・日大芸術学部合同展) 生命を見つめる	10	1,300 (130)	1,168 (117)	89.8%
7月12日(火) ～10月2日(日)	磯江毅 = グスタボ・イソエ (23企画展) ～マドリッド・リアリズムの異才	72	15,000 (208)	27,695 (385)	184.6%
10月9日(日) ～11月23日 (水・祝)	生誕130年 松岡映丘 日本の雅 (23企画展) 「やまと絵」復興のトップランナー	39	7,000 (179)	9,135 (234)	130.5%
2月19日(日) ～4月1日(日)	日本画壇の風雲児、中村正義 (23企画展) 新たなる全貌	37	7,000 (189)	7,457 (202)	106.5%
	(平成23年度企画展)			46,671	
	合 計	196	35,200 (180)	51,271 (262)	145.7%
	前年度	188		26,041 (139)	前年度比 196.9%

グランヴィル展観覧者数は、4月1日～4月10日の人数。

2階常設展示室によるコレクション展

観覧者数は、同時開催の企画展がある場合はその観覧者数、ない場合は常設展示室の入場者数から

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月3日(金) ～7月3日(日)	うす羽の幻想 鎬木昌弥展	27	2,700 (100)	3,462 (128)	128.2%
11月29日(火) ～12月25日(日)	滝瀬源一 スクラッチボードに見る 60・70年代の大衆文化展	24	2,400 (100)	4,040 (168)	168.3%
1月8日(日) ～2月14日(火)	昭和初期のサラリーマン・コレクター 森井荷十コレクション展	32	7,040 (220)	5,995 (187)	85.2%
	合 計	83	12,140 (146)	13,497 (163)	111.2%
	前年度	148	観覧者数 1日当り	22,023 (149)	前年度比 61.3% 109.4%

企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	22年度	23年度	前年度比
	39,156	64,768	165.4%

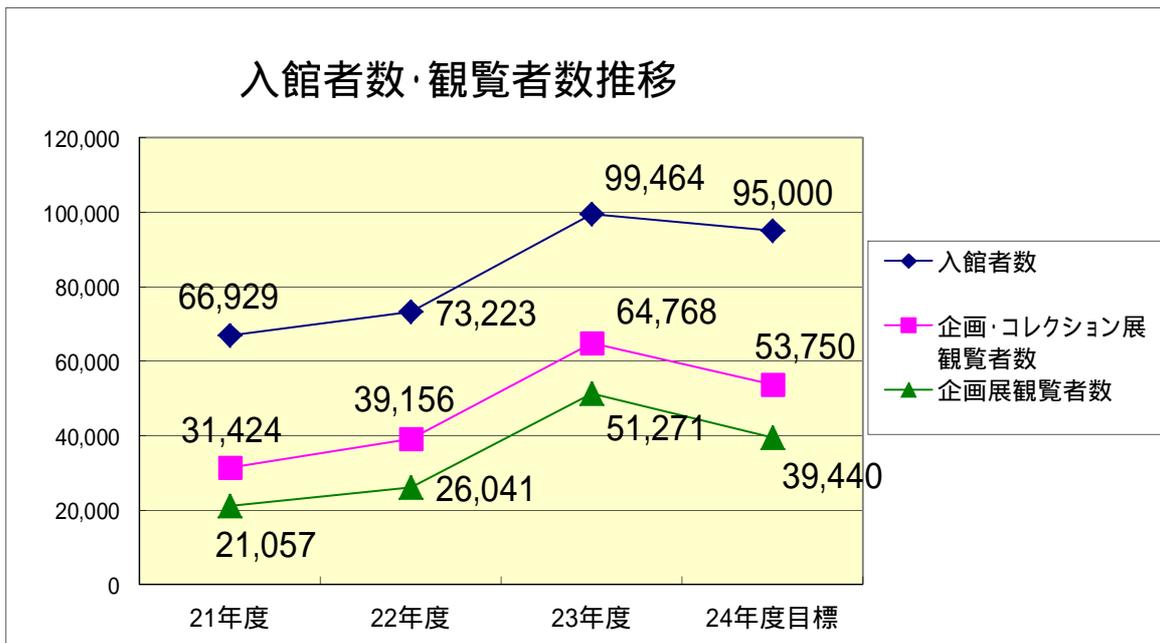
観覧者数は目標を大きく上回った。練馬区立美術館の知名度および理解度はアップし、存在感は増したと思われる。

その理由としては、PR、宣伝活動(テレビ・ラジオの番組・CM、新聞記事・広告、マスコミとの共催、Webコンテンツの利用など)や、マスコミとの共催、企業の協賛、諸団体の後援(フランス大使館、スペイン大使館)、助成(野村財団)の獲得などを積極的に行なったことが考えられる。

各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月3日(金) ～6月12日(日)	第56回練馬区美術家協会展	9	1,527 (170)	
1月14日(土) ～1月18日(水)	中学校生徒作品展	4	2,759 (690)	
1月21日(土) ～1月26日(木)	小学校連合同工展	5	8,860 (1,772)	
1月28日(土) ～1月29日(日)	小・中学校連合書初め展	2	11,117 (5,559)	
2月4日(土) ～2月14日(火)	第42回練馬区民美術展	9	2,930 (326)	
合 計		29	27,193 (938)	前年度比 103.9%
前年度		29	26,167 (902)	

入館者数比較	22年度	23年度	前年度比
	73,223	99,464	135.8%



平成23年度 企画展・コレクション展関連事業

1 PLATFORM2011 浜田涼・小林耕平・飯島大輔 距離をはかる

(平成23年4月16日～5月26日)

(1) 出品作家と学芸員によるギャラリートーク	計3回	82人
(2) 出品作家3名と学芸員のクロストーク	計1回	41人
(3) ライブパフォーマンス(演奏・踊り)	計3回	175人
(4) 鑑賞プログラム	計1回	12人
(5) 講演会	計1回	70人

2 特集展示 うす羽の幻想 鎬木昌弥展

(平成23年6月3日～7月3日)

(1) ギャラリートーク	計3回	90人
(2) 出品作家と学芸員によるギャラリートーク	計3回	57人

3 N+N展 2011 生命を見つめる

(平成23年6月23日～7月3日)

(1) ワークショップ	計1回	49人
(2) 出品作家によるシンポジウム	計1回	57人

4 特別展 磯江毅 = グスタボ・イソエ マドリード・リアリズムの異才

(平成23年7月12日～10月2日)

(1) ワークショップ	計1回	19人
(2) 出品作家とゆかりのある画家と学芸員のギャラリートーク	計3回	270人
(3) 講演会	計2回	127人

5 生誕130年 松岡映丘 - 日本の雅 「やまと絵」復興のトップランナー展

(平成23年10月9日～11月23日)

(1) 学芸員によるギャラリートーク	計3回	122人
(2) 講演会	計1回	80人
(3) コンサート	計1回	92人

6 滝瀬 源一 スクラッチボードに見る60・70年代の大衆文化 展

(平成23年11月29日～12月25日)

(1) 学芸員によるギャラリートーク	計2回	32人
(2) ワークショップ	計1回	19人
(3) 鑑賞プログラム	計1回	8人

6 特集展示 昭和初期のサラリーマン・コレクター 森井荷十コレクション展

(平成 24 年 1 月 8 日～2 月 14 日)

(1)ワークショップ	計1回	5人
(2)学芸員によるギャラリートーク	計2回	35人
(3)講演会	計1回	29人

7 特別展「中村正義 日本画壇の風雲児、新たなる全貌」

(平成 24 年 2 月 19 日～4 月 1 日)

(1)学芸員によるギャラリートーク	計2回	92人
(2)特別対談	計1回	50人

参加者計 23 年度 1,613 人
(22 年度 1,424 人)

平成 23 年度 広報活動と反響

1. 広報活動の取り組み

方針 多様な媒体を利用し、周知・集客に努める。
コレクションを使った常設展(小規模展)の広報も積極的に行う。

- (1) 展覧会のチラシ・ポスターの印刷
- (2) 美術館ニュース」の発行(年 1 回)
(1)(2)は全国美術館、関係者、区内施設等に発送
展覧会のポスターは、町会掲示板にも掲出依頼
- (3) 美術館ホームページ
平成 23 年 7 月からブログ開始。
ホームページ内の収蔵作品データベースへの年間アクセス数は 669,107 件。
- (4) マスコミへの情報発信
新聞・雑誌・地域コミュニティ紙・ウェブサイト等にプレスリリースを発信し、主に掲載料無料のものを利用している。
23 年度の磯江毅展、松岡映丘展、中村正義展で美術関係の PR 会社にリリース配信を委託。
- (5) 交通広告
年間を通して中村橋駅に案内看板を設置。
企画展覧会によってポスターの駅貼り広告等。
- (6) 新聞広告
平成 23 年度は、2 回掲載。(PLATFORM2011 展、磯江毅展)
- (7) 試行的な取り組み
ぐるっとパス 平成 23 年度から実施
ミューぼん 平成 22 年 12 月 2 日から
朝日新聞無料招待券 (23 年度)PLATFORM2011 で実施

2. 平成 23 年度展覧会に対する反響

(1) PLATFORM2011 (平成 23 年 4 月 16 日～5 月 29 日)

毎日新聞	4 月 20 日	日本経済新聞	5 月 12 日号
読売新聞	5 月 16 日	美術手帖	4 月号
芸術新潮	5 月号	月刊ギャラリー	5 月号
美術の窓	5 月号	ELLE ジャパン	6 月号
池袋 15'	5 月号	情報誌ぱど	4 月 22 日号
レッツインジョイ東京(WEB)		ReENTA taste(WEB)	
カロズネット(WEB)			

- (2) 「うす羽の幻想 錦木昌弥」展 (平成 23 年 6 月 3 日～7 月 3 日)
- | | | | |
|------|--------------------|------|--------------|
| 朝日新聞 | 6 月 15 日、22 日 | 東京新聞 | 6 月 8 日、16 日 |
| 読売新聞 | 6 月 14 日、21 日、28 日 | かっせ | 6、7 月号 |
- (3) N+N 展 2011 生命を見つめる (平成 23 年 6 月 23 日～7 月 3 日)
- | | | | |
|-------|----------|-----|------|
| 新美術新聞 | 6 月 21 日 | かっせ | 6 月号 |
|-------|----------|-----|------|
- レッツインジョイ東京(WEB)
- (4) 磯江毅展 (平成 23 年 7 月 12 日～10 月 2 日)
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------|-----------------------|----------|
| NHK BS「地球テレビ エル・ムンド」 | 7 月 14 日 | | |
| NHK E テレ「日曜美術館 アートシーン」 | 7 月 24 日 | | |
| TOKYO FM「Blue Ocean」 | 7 月 11 日 | | |
| J-WAVE「DOCOMO TOKYO REMIX ZOKU」 | 7 月 30 日 | | |
| エフエム西東京「ランチボックス」 | 8 月 8 日 | | |
| 朝日新聞 | 7 月 7 日、12 日、8 月 3 日、17 日 | | |
| 日本経済新聞 | 7 月 23 日、9 月 8 日 | 毎日新聞 | 8 月 5 日 |
| 東京新聞 | 8 月 12 日 | 産経新聞 | 8 月 28 日 |
| 共同通信社 | 6 月 24 日配信 | The Daily Yomiuri | 7 月 8 日 |
| サンケイプレス | 7 月 12 日 | 新美術新聞 | 7 月 21 日 |
| 環境緑化新聞 | 7 月 1 日 | 芸術新潮 | 7 月号 |
| 月刊ギャラリー | 7 月号 | 美術手帖 | 7、8、9 月号 |
| アートコレクター | 7、9 月号 | 美術の窓 | 2、8 月号 |
| 月刊展覧会ガイド | | 月刊美術 | 8 月号 |
| 美じょん新報 | 8 月 1 日 | トーキング・ヘッド 叢書 | 47 |
| 婦人画報 | 9 月号 | 月刊装道 | 8 月号 |
| Oggi | 10 月号 | キュリオマガジン | 9 月号 |
| ぴあ | 7/7 | 産業新潮 | 8 月号 |
| 光が丘 NOW | 9・10 月号 | ジョブアイデム | 7/18 |
| ふれあい朝日 | 7 月 1 日 | ホットペッパー | 9 月号 |
| かっせ | 7、8 月号 | びいーゆ | 8 月号 |
| 池袋 15' | 7 月号 | 月刊武州路 | |
| 月刊新松戸 | 7 月号 | 多摩川新聞 | 7 月 24 日 |
| NHK ラジオテキスト まいにちスペイン語 | 9 月号 | Japan-i | 9 月号 |
| フィガロ ジャパン(WEB) | | カロズネット(WEB) | |
| レッツインジョイ東京(WEB) | | 展覧会へ行こう(WEB) | |
| インターネットミュージアム(WEB) | | クラブウィルビー(WEB) | |
| ケータイ・サプリ web マガジン(WEB) | | Japan Design Net(WEB) | |
| ReENTA taste(WEB) | | G-CALL(WEB) | |
| ぶらり美術館(WEB) | | 式代目・青い日記帳(WEB) | |

アート・ジェーン(WEB)
Art inn(WEB)
ART ACCESS(WEB)

ほろど・わーど(WEB)
ARTNEWS 美術館探訪(WEB)

(5) 生誕130年 松岡映丘 - 日本の雅 - やまと絵復興のトップランナー展

(平成 23 年 10 月 9 日 ~ 11 月 23 日)

テレビ東京「美の巨人たち」 10 月 29 日

BS-ジャパン 11 月 20 日

日本経済新聞 8 月 29 日、9 月 18 日、10 月 3 日、10 月 16 日、11 月 10 日、11 月 20 日

朝日新聞 11 月 2 日

東京新聞 10 月 6 日

日経 23 プラス 10 月号

産経エクスプレス 11 月 1 日

ジャパントゥタイムズ 10 月 7 日

赤旗 11 月 2 日

港区政新聞 10 月 1 日

多摩川新聞 10 月 23 日

美術の窓 9 月号

月刊美術 10 月号

エクラ 11 月号

ニュートップリーダー 11 月号

月刊ボザール 11 月号

池袋びいーゆ 11 月号

光が丘 NOW 11・12 月号

ミセス 12 月号

(6) 滝瀬源一展 (平成 23 年 11 月 29 日 ~ 12 月 25 日)

毎日新聞 12 月 3 日

毎日新聞 毎週月曜日

朝日新聞 12 月 7 日

かっせ 12 月号

池袋 15' 12 月号

レッツインジョイ東京(WEB)

ReENTA taste(WEB)

ねりまホットライン 12 月前半放送分

(7) 昭和初期のサラリーマンコレクター 森井荷十コレクション展 (平成 24 年 1 月 8 日 ~ 2 月 14 日)

毎日新聞 1 月 11 日、18 日、25 日、2 月 1 日、8 日

日本経済新聞 1 月 21 日

朝日新聞 2 月 1 日

芸術新潮 1 月号

ギャラリー 2 月号

アートコレクター 2 月号

美術の窓 1 月号、2 月号

(8) 中村正義展 (平成 24 年 2 月 19 日 ~ 4 月 1 日)

東京新聞 2 月 6 日、16 日、19 日、20 日、21 日、22 日、3 月 2 日

朝日新聞 3 月 21 日

朝日新聞定年時代 3 月下旬号

毎日新聞 3 月 27 日

産経新聞 2 月 19 日

日本経済新聞 2 月 18 日、3 月 1 日

サンケイエクスプレス 2 月 26 日

新美術新聞 3 月 21 日

美術手帖 4 月号

美術の窓 3 月号

月刊水墨画 4 月号

月刊展覧会ガイド

かっせ 3 月号

高島平新聞 2 月 15 日

メディアあさお 2 月

ふれあい朝日 284

月刊武州路 2月号 新かながわ 3月25日
 文化放送「くしまるジャパン」3月9日
 NHK Eテレ「日曜美術館アートシーン」3月4日
 インターネットミュージアム(WEB) レッツエンジョイ東京(WEB)
 練馬経済新聞(WEB) C]キューブ(WEB)
 G-Call(WEB) acoreおおみや(WEB)
 Artgene(WEB) Art inn(WEB)
 クラブウィルビー(WEB)

3. 展覧会放送・掲載回数

	23年度	22年度	21年度
テレビ・ラジオ	11	11	9
新聞	62	62	44
美術誌	29	28	15
地域情報誌・その他の雑誌	39	44	33
WEB	35	31	27
計	176	176	128

(2)教育普及事業

平成23年度 教育普及事業実績

館内事業

） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
N+N展 関連ワークショップ	針金で動物作り	7月3日(日) 13:00～15:00	鞍掛純一 (日本大学芸術学 部准教授)	針金を使って色々な動物を 作った	3歳～大人	無料		49	
磯江毅展 関連講座	油彩画に挑戦！ リアリズムって何だ？ (2日間)	8月6日(土) 10:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	パワーポイントを使ったり アリズムのお話と磯江展 の鑑賞後、自宅から持っ てきたモチーフをF4の キャンパスに油彩で描い た	小学4年生 ～中学生	1,000	20	32	19
		8月7日(日) 10:30～17:00							
滝瀬源一展 関連講座	スクラッチボード講座	12月17日(土) 13:00～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	260×360mmの下絵を参加 者が用意し、スクラッチボ ードに写し削る体験をした	小学3年生 ～大人	500	20	19	19
森井荷十展 関連講座	親子で作る川柳画	2月5日(日) 14:00～17:00	尾藤一泉 (川柳学会常任理 事)	川柳のレクチャーの後、各 自川柳を作りこれに絵を添 えて色紙を完成させた	小学生と 保護者(こど も1人参加可)	300	20	6	5
						60	51	92	
						計4回 参加者延92名			

ギャラリートーク

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
PLATFORM展	ギャラリートーク	4月16日(土) 15:00～16:00	鮫島大輔 (作家) × 真子みほ (当館学芸員)	出品作家と担当学芸員によ るギャラリートーク		展覧会 観覧料		20
	クロストーク	4月23日(土) 16:00～17:30	浜田涼×小林 耕平×鮫島大 輔×真子みほ (当館学芸員)	出品作家3名と担当学芸員 によるトーク(於中央ロビー)		展覧会 観覧料		41
	ギャラリートーク	4月24日(日) 15:00～16:00	浜田涼(作家) × 真子みほ (当館学芸員)	出品作家と担当学芸員によ るギャラリートーク		展覧会 観覧料		27
	ギャラリートーク	5月7日(土) 16:00～17:00	小林耕平 (作家) × 真子みほ (当館学芸員)	出品作家と担当学芸員によ るギャラリートーク		展覧会 観覧料		35
鎬木昌也展	ギャラリートーク	6月4日(土) 14:00～15:00	上山 陽子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		展覧会 観覧料		32
	ゲストトーク	6月11日(土) 14:00～	鎬木昌也 (画家) × 上山陽子 (当館学芸員)	出品作家と担当学芸員によ るギャラリートーク		無料		57
	ギャラリートーク	6月18日(土) 14:00～	上山 陽子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		展覧会 観覧料		21
7月2日(土) 14:00～					展覧会 観覧料		37	

磯江毅展	ギャラリートーク	8月6日(土) 15:00～	水野 暁 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)	磯江と縁のある画家と担当 学芸員によるギャラリートーク	展覧会 観覧料				70
		8月20日(土) 15:00～	諏訪 敦 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)		展覧会 観覧料				110
		9月3日(土) 15:00～	石黒 賢一郎 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)		展覧会 観覧料				90
松岡映丘展	ギャラリートーク	10月15日(土) 14:00～	加藤陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク	展覧会 観覧料				24
	ギャラリートーク	10月22日(土) 14:00～		担当学芸員によるギャラ リートーク	展覧会 観覧料				30
	ギャラリートーク	11月19日(土) 14:00～15:00		担当学芸員によるギャラ リートーク	展覧会 観覧料				68
滝瀬源一展	ギャラリートーク	12月3日(土) 14:00～15:00	真子みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク	無料				12
		12月25日(日) 14:00～15:30		担当学芸員によるギャラ リートーク	無料				20
森井荷十展	ギャラリートーク	1月14日(土) 15:00～15:30	加藤陽介 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク	無料				15
		1月28日(土) 15:00～15:30		担当学芸員によるギャラ リートーク	無料				20
中村正義展	ギャラリートーク	3月3日(土) 15:00～16:00	野地 耕一郎 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク	展覧会 観覧料				57
		3月10日(土) 15:00～16:00			展覧会 観覧料				35
		3月17日(土) 15:00～16:00	中村 倫子 (中村正義の美術 館館長) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)	担当学芸員とゲストによる ギャラリートーク	展覧会 観覧料				93
		3月24日(土) 15:00～16:00	野地 耕一郎 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク	展覧会 観覧料				35
		3月31日(土) 15:00～16:00	大野 俊治 (人人会会員、豊 橋市美術博物館 主任学芸員) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)	担当学芸員とゲストによる ギャラリートーク	展覧会 観覧料				110
									1059

計23回 参加者延1,059名

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
特別講演会	5月21日(土) 16:00~17:30	斉藤由香(サン トリー窓際OL・エッ セイスト)	祖父である歌人斉藤茂吉 や父・北杜生の話や健康で いきいきと生きるコツをお話 いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	50	100	70
N+N展 関連シンポジウ ム	6月25日(土)	高橋幸次(日本 大学芸術学部教 授)・鞍掛純 一、笹井裕 子、鈴木孝 史、奥野邦 利、木村政司 (出品作家)	3.11後の今、改めて表現者 として「生」を考え各立場で 創作について、パネリストと ともに語った(於視聴覚室)	中学生 以上	無料			57
磯江毅展 関連講演会	7月23日(土)	逢坂剛(作家)	スペインに造詣の深い作家 に磯江が渡西していた頃の スペインについてお話した いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	60	73	57
磯江毅展 関連講演会	9月24日(土)	木下亮(昭和女 子大学教授)	スペインでの磯江との交流 や作品についてお話した いただいた(於視聴覚室)	中学生 以上	展覧会 観覧料	60	199	70
松岡映丘展 関連特別講演 会	11月5日(土) 14:00~15:30	山下裕二 (明治学院大学教 授)	映丘作品の魅力と日本美 術史に果たした役割をお話 いただいた(於視聴覚室)	高校生 以上	展覧会 観覧料	60	95	80
森井荷十展 関連講演会	2月4日(土) 15:00~16:30	笹木繁男 (現代美術資料セ ンター主宰)	自らのコレクション遍歴とコ レクターの心得をお話した いただいた(於視聴覚室)	高校生 以上	無料	60	32	29
中村正義展 関連特別対談	2月25日(土) 15:00~16:30	武重邦夫 (映画監督) × 中村倫子 (中村正義の美術 館館長)	本年公開予定の武重監督 による同名記録映画の製 作談義を予定(於視聴覚室)	高校生 以上	展覧会 観覧料	60	50	50
						290	549	413

計7回 参加者延413名

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
PLATFORM展関連ライブパフォーマンス 「near, far, near, far」	4月17日(日) 14:00~14:30	東山佳永(踊り 手/artist)×橋本 和昌(作曲家/演 奏家)	PLATFORM展のテーマ に合わせて構成された パフォーマンスを行った (於中央ロビー)		展覧会 観覧料			62
PLATFORM展関連パフォーマンス 「運送としょうゆとかくや姫と先生とライオ ンと吉田くん」	4月23日(土) 11:30~15:30	小林耕平(作家) × core of bells (バンド)	出品作家とバンドメンバ ーによるパフォーマンスを 行った(於展示室)		展覧会 観覧料			53
	5月7日(土) 11:30~15:30				展覧会 観覧料			60
松岡映丘展記念コンサート 「琵琶と語りで聴く いにしへの恋のものが たり」	10月29日(土) 16:00~	川村旭芳 (筑前琵琶奏者)	平家物語を琵琶法師の演 奏と語りで聴いた(於中央ロ ビー)		展覧会 観覧料			92
								267

計4回 鑑賞者延267名

鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
PLATFORM2011 展	5月14日(土) 15:00~16:00	真子 みほ (当館学芸員)	浜田涼作品の鑑賞と読み 聞かせ、画用紙でシルエッ トカードを作った	3歳~小学 1年+保護 者	無料	5組	6組 14名	5組 12名
滝瀬源一展	12月24日(土) 15:00~16:00		絵本「もりのなか」の読み聞 かせと展示室作品内の動 物探し、カラーージュを行った	3歳~6歳 +保護者	無料	5組	3組 8名	3組 8名
								8組 20名

計2回 参加者延20名

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
目からウロコの日本美術史	「平泉中尊寺と平安の仏たち」 10月30日(日) 14:00～15:30	岩佐 光晴 (成城大学教授)	寺の古の姿から現存する仏像、仏師の系統まで幅広くお話いただいた	高校生以上	展覧会観覧券	60	76	61
目からウロコの日本美術史	「やまと絵の一千年」 11月12日(土) 14:00～15:30	高岸 輝 (東京工業大学大学院准教授)	一千年の歴史を、言葉の問題から歴代の絵師、時代ごとの特徴からお話いただいた	高校生以上	展覧会観覧券	60	78	63
初心者向けデッサン	「鉛筆で花を描く」 (2日間) 1月21日(土) 10:30～17:00 1月22日(日) 10:30～17:00	黒石 千恵子 (女子美術大学日本画研究室専任助手)	デッサンの基礎的な話とクローッキー、陰影デッサンを行った 前日に引き続き生花(百合)をデッサンし、コンテで着色した	中学生以上	1,500	20	91	20
椅子を作る	「見える世界を変える場所」 (2日間) 3月17日(土) 10:30～17:00 3月18日(日) 10:30～17:00	白木 麻子 (美術家)	高さ38cm×座面25×25cmの木製の椅子をつくる。パーツを組み立て構造を学び、原料を和紙とするペーパーコードを使って座面を編む	中学生以上	4,500	15	22	13
おでかけ"国立西洋"美術館[A]	3月27日(火) 10:30～17:00	藁谷裕子 (国立西洋美術館研究補佐員)	当館と西洋美術館の2館を一日で巡りお話を聞き、作品や建物を見ることで、「美術館」それぞれの役割があることを考えるきっかけとする	新小学4～6年生	50	10	14	11
おでかけ"国立西洋"美術館[B]	3月28日(水) 10:30～17:00	真子みほ (当館学芸員)				10	9	8
						175	290	176
						計6回 参加者延176名		

）美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
四季のみじたく	夏のみじたく 「紙を重ねてpaper brooch」 7月17日(土) 10:30～12:30	西本良太 (木工作家)	紙を何枚もボンドをつけて重ね、厚みを出し好きな形にカットする。これをひとつのモチーフとしていくつも組み合わせフローチに仕立てた	小学4年生以上	300	15	17	13
	7月17日(土) 14:00～16:00					15	18	13
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び[A]	8月13日(土) 10:30～12:30	真子みほ (当館学芸員)	館内を探検しながら様々な場所に紙を当て鉛筆でこすり出す方法(フロッタージュ)を使って、美術館をつかまえた	5歳～小学3年生	100	15	20	15
美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び[B]	8月20日(土) 10:30～12:30					15	15	14
四季のみじたく	秋のみじたく 「秋色コラージュリース」 9月25日(日) 13:30～17:00	石倉まきこ (houtiオーナー)	ユーカリの枝を束ね丸く曲げて土台にし、好きなモチーフを付けリースを作った	小学4年生以上	1,000	15	27	15
四季のみじたく	冬のみじたく 「テキスタイルから作る冬のオーナメント」 12月4日(日) 13:30～17:00	松尾由佳 (アートディレクター・デザイナー)	白布に染色クレヨンで好きな模様を描きオリジナルテキスタイルに。布はカットしフェルトや市販の布と組み合わせ綿をつめオーナメントに仕立てた	小学4年生以上	1,500	15	6	3
四季のみじたく	春のみじたく 「スタンドグラスで作る手鏡」 2月25日(土)	nido (スタンドグラス工房兼ショップ)	端ガラスと鏡を組み合わせ、手鏡を作る	中学生以上	1,800	10	43	10
						100	146	83
						計7回 延83名		

） その他

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
キャッチフレーズ、ロゴ・マーク導入記念シンポジウム	5月13日(金) 16:00～17:30	葛西薫、ナガクラトモヒコ、古居利康	ロゴマーク導入を記念したシンポジウム(於視聴覚室)	中学生以上	観覧料	50	49	49
軽井沢お泊りワークショップ	10月15日(土)～16日(日) 1泊2日	大小島真木(作家) 高須賀千江子(ダンサー)	ベルデ軽井沢で一泊二日のワークショップを行った。仮面を作り森の中を歩きスケッチを元に絵本を作成した	小学3年生以上 (小学生は保護者と共に申込)	大人8500 子ども5600	20	13	11
						70	62	60
						計2回 延60名		

館内事業計55回 参加者延2,170名

学校関連事業

） スクールプログラム 4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

団体鑑賞 A = 簡単な展示概要と作品解説 B = 先生が美術館にて授業を行った

コース名	展覧会	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
Aコース	PLATFORM展	5月24日(火) 10:30～11:15		練馬区立練馬第三小学校・6年2組	64	3
		5月24日(火) 11:30～12:15		練馬区立練馬第三小学校・6年1組		
	磯江毅展	7月22日(金) 11:00～13:00		調布市立第七中学校・美術部	11	2
		9月6日(火) 10:50～12:10		練馬区立練馬第三小学校・6年生	64	3
		9月22日(木) 13:30～		都立工芸高等学校・デザイン科	7	1
		9月23日(金) 11:30～12:15		武蔵大学・芸術史履修生[A]	21	1
		9月23日(金) 12:30～13:15		武蔵大学・芸術史履修生[B]	6	
		9月24日(土) 10:15～11:20		淑徳与野高等学校	13	1
			淑徳与野中学校	2		
	松岡映丘展	10月21日(金) 14:30～15:30		都立武蔵丘高等学校・美術部	10	1
	中村正義展	2月21日(火) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年	238	1
		2月22日(水) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年		
		2月23日(木) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年		
		2月28日(火) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年		
2月29日(水) 13:10～14:00			山崎学園富士見中学校・2年			
	3月1日(木) 13:10～14:00		山崎学園富士見中学校・2年			
Bコース						
					436	13
					計15回 延449名	

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月24日(火) 13:30～14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生	67	1
	5月27日(金) 13:30～14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生		1
	7月29日(金) 10:00～11:00		練馬区立向山小学校・登校班	6	2
	8月3日(木) 15:00～16:00		都立大泉桜高校・1年生	1	
	9月9日(金) 13:00～15:00		練馬区立関中学校・1年生	37	1
	11月19日(土) 13:00～15:00		武蔵大学・学芸員資格所得履修生1・2年 学習院大学・学芸員資格所得履修生4年	50	1
				161	6
				計6回 延167名	

職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月30日(木) ～7月1日(金) 9:30～15:00	6月16日(木) 15:00～	練馬区立石神井西中学校・2年生	2	1
	9月21日(水) ～22日(木) 9:30～15:00	9月2日(金) 14:00～	練馬区立貫井中学校・2年生	3	
	9月28日(水) ～29日(木) 9:30～15:00	9月16日(金) 16:00～	練馬区立石神井東中学校・2年生	2	1
	9月29日(木) ～30日(金) 9:30～15:00	9月16日(金) 14:00～	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	3	1
	11月10日(木) ～11日(金) 9:30～15:00	9月28日(金) 14:00～	練馬区立大泉第二中学校・2年生	2	1
	12月2日(金) 14:30～15:00 職場訪問		練馬区立光が丘第二中学校・1年生	4	
	1月17日(火) ～18日(水) 9:30～15:00	1月11日(水)	小金井市立緑中学校・1年生	1	1
	1月19日(木) 9:30～15:00	生徒打合せ 12月15日(木) 15:00～ 事前訪問 1月12日(木) 15:00～	練馬区立中村中学校・1年生	3	1
	2月2日(木) ～3日(金) 9:30～15:00	1月25日(水) 15:30～	練馬区立開進第二中学校・1年生	3	1
	2月3日(金) 14:00～14:50 職場訪問		練馬区立光が丘第三中学校・1年生	6	
2月10日(金) 9:30～15:00	1月26日(木) 16:00～	練馬区立大泉学園中学校・1年生	3	1	
				32	7
職場訪問は、次年度の職場体験に向け1年生が職場に出向きインタビューなどを行うもの				計11回 延39名	

スクールプログラム 計21校 32回 参加児童・生徒・学生 延655名

）ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。

各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
PLATFORM2011展	4月19日(火) 15:30～16:30	17
磯江毅展	7月12日(火) 15:30～16:30	20
松岡映丘展	10月12日(水) 15:30～16:30	8
中村正義展	2月21日(火) 16:30～17:30	10
		計4回 延55名

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを図った。

これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

本年度の貸し出し なし

）その他

学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 延16名(引率延4名)

日時	参加プログラム名	活動内容	人数	引率
8月6日(土)	油彩画に挑戦!	プログラムの準備・片付け、写真撮影、制作補助等	5名	1名
8月7日(日)				1名
8月13日(土)	美術館をつかまえる!?		5名	1名
8月20日(土)			6名	1名
				計3回延20名

初任者研修受け入れ

8月13日(土) 10:00～17:00 東京都立桜高等学校 熊谷海燕 教諭 1回 1名
ワークショップ「美術館をつかまえる？」開催時

研修内容：初任者研修課題別研修「ボランティア活動への参加」としてイベントの手伝い等を行った

その他

）**団体鑑賞（一般）** 本年度より一般向け団体鑑賞の申込書を作成し記録する。ただし要望があったときのみ。美術館からの働きかけはしない。

展覧会	在館予定	担当	団体名	代表者氏名	参加者
磯江毅展	9月30日(金) 10:15～11:45	真子	社29会(世田谷区生涯大学OB会)	中根實	11
松岡映丘展	10月21日(金) 14:30～15:30	加藤	NHK文化センター青山 日本画デッサン教室	斉藤満栄	40
滝瀬源一展	12月7日(水) 15:00～17:00	真子	東京都東村山市立小学校図工部	大森直子	20
					計3回 延71名

平成23年度教育普及事業全参加者 2,972名
平成22年度教育普及事業全参加者 2,316名

平成23年度 博物館実習受入実績

実習実施期間 平成23年8月25日(木)～9月4日(日) <10日間>

No	大学名	学部等	人数
1	埼玉学園大学	人間学部人間文化学科	1名
2	多摩美術大学	絵画学科油画専攻	1名
3	武蔵大学	人文学部 日本・東アジア比較文化学科	1名
4	東京工芸大学	芸術学部 デザイン学科	1名
5	武蔵野美術大学	造形学部 油絵学科	1名
6	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
7	昭和女子大学	人間文化学部 歴史文化学科	1名
8	立教大学大学院	文学研究科 教育学専攻	1名
9	共立女子大学	文芸学部 文芸学科	1名
10	日本大学	芸術学部 美術学科	1名
11	明治学院大学	文学部 芸術学科	1名
12	清泉女子大学大学院	人文科学研究科	1名
13	駿河台大学	文化情報学部文化情報学科	1名
14	東京造形大学	造形学部デザイン学科	1名
合		計	14名

(22年度 12名)

平成23年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらっているボランティア活動である。

平成23年7月に第6期が終了し、8月から第7期が始動し、計58人が活動している。

サポーター活動の実績

平成24年3月31日現在

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
PLATFORM展	会場整理等イベント補助	4日	11名
鈴木昌也展	チラシ等発送準備	1日	5名
磯江毅展	会場整理等イベント補助	2日	5名
松岡映丘展	チラシ等発送準備	1日	3名
松岡映丘展	会場整理等イベント補助	4日	7名
中村正義展	チラシ等発送準備	1日	4名
中村正義展	会場整理等イベント補助	2日	3名
区民美術展	会場整理等イベント補助	5日	48名
バルビエ・ラブルール展	チラシ等発送準備	1日	2名
教育普及事業	引率等イベント補助	2日	2名
練馬区ゆかりの作家調べ		12日	88名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		10日	70名
新聞切り抜き資料作成		90日	628名
館長を囲む会		3日	51名
合	計	138日	927名

22年度 106日 790名

(3) 美術作品の収集事業

美術作品の収蔵状況

(平成24年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28							317	28	573	601	
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
合計	31	219	189	877	75	525	1	7	0	1	1	21	1	459	298	2110	2408

平成24年3月31日現在
寄託作品 591件

23年度その他・寄贈は
挿絵の原画など

平成23年度美術作品取得状況

1. 購入作品

なし

2. 寄贈作品

	分野	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	洋画	上田 薫	液体B	1991年	油彩・画布	額	181.8×227.3
2	洋画	小川千麿	田園風景(仮題)	大正前期	油彩・画布	枠のみ	65.0×100.0
3	洋画	平澤熊一	竹山の廟	1933-37年	油彩・画布	額	73.0×91.0
4	洋画	平澤熊一	(静物)	1958年	油彩・画布	額	90.5×65.5
5	洋画	平澤熊一	雑草の夜	1960年	油彩・画布	額	65.0×100.0
6	洋画	平澤熊一	静物	1960年代	油彩・画布	額	66.0×53.0
7	洋画	平澤熊一	花	1950年代	油彩・画布	額	56.5×46.0
8	日本画	水田舜人	獅子	1960年代	紙本着色	額	147.0×67.0
9	日本画	山口八九子	祝日	1917年頃	紙本墨画淡彩	軸	137.2×33.3
10	日本画	山口八九子	早春の山	1920年頃	紙本墨画淡彩	軸	137.2×33.8
11	日本画	山口八九子	海苔取之図	1920年頃	絹本着色	まくり	35.4×42.0
12	日本画	山口八九子	竹林	1921年頃	紙本墨画淡彩	軸	41.5×52.7
13	日本画	山口八九子	田植	1921年頃	絹本着色	まくり	35.0×42.0
14	日本画	山口八九子	落葉	1924年頃	絹本着色	まくり	43.0×52.5
15	日本画	山口八九子	山水	1930年頃	紙本墨画淡彩	軸	140.5×34.8
16	洋画	淀井 彩子	骨の風景	2000年	油彩・画布	枠のみ	185.0×150.0

	分野	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
17	洋画	淀井 彩子	骨の風景	2000年	油彩・画布	枠のみ	185.0×150.0
18	洋画	淀井 彩子	骨の風景	2000年	油彩・画布	枠のみ	185.0×150.0
19	洋画	淀井 彩子	骨の風景	2000年	油彩・画布	枠のみ	185.0×150.0
20	洋画	淀井 彩子	骨の風景	2000年	油彩・画布	枠のみ	185.0×150.0
21	洋画	淀井 彩子	芭蕉	2008年	油彩・画布	枠のみ	117.0×73.0
22	彫刻	滝瀬源一	火焰層位学	1970年	陶彫(テラコッタ)		101.0×101.0 ×35.0

3. 寄贈資料 (別紙)

	分野	作者名	作品名
1	資料	滝瀬源一	スクラッチ・ボード関係作品・資料一括(全123件)

4. 寄託作品

	分野	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	日本画	石井林響	伏姫図	明治時代末	絹本着色	軸	113.0×57.0
2	日本画	石塚 翰	東都名所	大正中期	絹本着色	卷子	26.0×657.0
3	日本画	小野具定	魚	1955年	紙本着色	額	51.5×71.5
4	日本画	小野具定	老漁夫	1969年	板着色	パネル	116.0×90.5
5	日本画	小野具定	漁村A	1974年	板着色	額	116.0×72.0
6	日本画	小野具定	防波堤(捨てられた海)	1974年	板着色	額	89.5×115.0
7	日本画	小野具定	加工場	1974年頃	板着色	額	71.0×98.0
8	日本画	小野具定	北辺の酒場	1974年	板着色	額	79.0×116.0

	分野	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
9	日本画	小野具定	薄明の酒場	1979年	板着色	額	116.0×79.0
10	写真	小野成視	「授業のなかの子どもたち」シリーズ64点	1975～79年	モノクロプリント	パネル	四切他各種64枚
11	日本画	本多天城	月に波、波の図	不詳	絹本着色	軸	98.5×27.5
12	日本画	本多天城	月見母子、郭子儀図	不詳	絹本着色	軸	111.8×42.0
13	日本画	本多天城	春山水	不詳	紙本墨画淡彩	軸	118.0×35.3
14	日本画	前原豊三郎	早春	1940年	紙本着色	額	195.9×141.8
15	洋画	牧野邦夫	郷さん母上	1961年	油彩・画布	額	53.0×45.0
16	洋画	牧野邦夫	酒場	1961年	油彩・画布	額	65.0×53.0
17	洋画	牧野邦夫	ミショー	不詳	油彩・画布	額	60.6×50.0
18	洋画	牧野邦夫	ひん曲がった部屋	1963年	油彩・画布	額	60.0×72.0
19	洋画	牧野邦夫	Sさんの肖像	1963年	油彩・画布	額	60.6×50.0
20	洋画	牧野邦夫	画家R氏の肖像	1963年	油彩・画布	額	65.0×53.0
21	洋画	牧野邦夫	食卓にいる姉の肖像	1964年	油彩・画布	額	116.0×91.0
22	洋画	牧野邦夫	自画像	1967年	油彩・画布	額	64.0×52.0
23	洋画	牧野邦夫	画家R氏の肖像	1974年	油彩・画布	額	72.0×60.0
24	洋画	牧野邦夫	晩秋の奈良公園を歩く恋人たち	1974年	油彩・画布	額	91.0×116.0
25	洋画	牧野邦夫	細野信氏の肖像	1979年	油彩・画布	額	53.0×45.0
26	洋画	牧野邦夫	死んでゆく私の姉を描く画家R氏	1979年	油彩・画布	額	116.0×91.0
27	洋画	牧野邦夫	インパール	1980年	油彩・画布		162.0×130.0
28	洋画	牧野邦夫	饅頭を買うシュールリアリストH氏	1985年	油彩・画布	額	72.0×91.0
29	洋画	牧野邦夫	武装する自画像(最後の自画像)	1986年	油彩板	額	65.0×91.0

	分野	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
30	洋画	牧野邦夫	未完成の男	不詳	油彩板	額	40.0×38.0
31	洋画	牧野邦夫	未完成の女	不詳	油彩板	額	40.0×27.0
32	洋画	牧野邦夫	未完成の塔	不詳	油彩・画布	額	116.0×91.0
33	洋画	牧野邦夫	雑然とした部屋	1986年	油彩・画布	額	116.0×91.0
34	洋画	牧野邦夫	不思議な国に住む絵描きとモデル	1986年	油彩・画布	額	116.0×116.0
35	日本画	松岡映丘	月	1917年	紙本墨画	軸	38.0×52.5
36	日本画	松岡映丘	草紙洗	1919年頃	絹本着色	軸	113.0×41.5
37	日本画	松岡映丘	さつきまつ浜村	1928年	絹本着色	屏風	101.5×189.0
38	日本画	松岡映丘	なでしこ	大正～昭和初	紙本淡彩	軸	31.3×24.5
39	日本画	松岡映丘	湯煙(草枕)	1928年	絹本着色	額	51.5×29.7
40	日本画	松岡静野	舞妓	大正期	絹本着色	軸	52.2×41.1

(別紙)

3.寄贈資料

	作者名	作品名	形状	サイズ(cm)
1	滝瀬源一関連	Jules Verne/Illustration far L.BENETT"Le château des Carpathes"Librairie Hachette,1966.	印刷物	16.5×11.0、241p
2	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/横塚光雄訳『二年間のパカンス(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集5)』集英社、1967年12月	印刷物	17.5×11.3、373p
3	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/安東次男訳『カルパチアの城(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集6)』集英社、1968年1月	印刷物	17.5×11.3、205p
4	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/手塚伸一訳『気球に乗って五週間(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集7)』集英社、1968年3月	印刷物	17.5×11.3、275p
5	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/川村克訳『地底の冒険(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集8)』集英社、1968	印刷物	17.5×11.3、251p
6	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/鈴木力衛訳『月世界旅行(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集9)』集英社、1968年4月	印刷物	17.5×11.3、220p
7	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/金子博訳『アドリア海の復讐< >(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集14)』集英社、1968年8月	印刷物	17.5×11.3、247p
8	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/新庄嘉章訳『黒いダイヤモンド(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集19)』集英社、1969年1月	印刷物	17.5×11.3、218p
9	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/安東次男訳『ジャンガダ(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集20)』集英社、	印刷物	17.5×11.3、297p
10	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/手塚伸一訳『神秘の島< >(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集22)』集英社、1969年4月	印刷物	17.5×11.3、279p
11	滝瀬源一関連	表紙「少年サンデー」1969年4月27日号	印刷物	25.5×18.0
12	滝瀬源一関連	ジュール・ヴェルヌ/石川湧訳『砂漠の秘密都市(コンパクト・ブックス ヴェルヌ全集23)』集英社、1969年、5月	印刷物	17.5×11.3、347p
13	滝瀬源一関連	表紙「別冊週刊大衆」1970年7月号	印刷物	25.5×18.0
14	滝瀬源一関連	表紙「別冊週刊大衆」1970年8月号	印刷物	25.5×18.0
15	滝瀬源一関連	表紙「別冊週刊大衆」1970年9月号	印刷物	25.5×18.0
16	滝瀬源一関連	表紙「別冊週刊大衆」1970年10月号	印刷物	25.5×18.0
17	滝瀬源一関連	文庫本カバー 清水一行『札束時代 赤たん禪』徳間文庫、1970年	印刷物	15.0×30.0
18	滝瀬源一関連	表紙「少年サンデー」1971年12月5日号	印刷物	25.5×18.0
19	滝瀬源一関連	子母沢寛『勝海舟(第5巻・江戸開城)』新潮社、1974年、21刷	印刷物	20.3×14.0、299p
20	滝瀬源一関連	文庫本カバー 子母沢寛『勝海舟(第5巻・江戸開城)』新潮社、1974年	印刷物	15.0×58.3
21	滝瀬源一関連	表紙「漫画大探検」1975年創刊11月号	印刷物	25.5×18.0
22	滝瀬源一関連	文庫本カバー 阿部牧郎『ビル街の官能』サンケイノベルズ、1975年	印刷物	18.8×28.8
23	滝瀬源一関連	映画ポスター「けんか空手 極真無頼拳」1975年12月公開、配給:東映、監督:山口和彦、主演:千葉真一	印刷物	72.5×51.5

	作者名	作品名	形状	サイズ(cm)
24	滝瀬源一関連	表紙「漫画大探検」1976年1月号	印刷物	25.5 × 18.0
25	滝瀬源一関連	野長瀬正夫『ゴッホ(母と子の世界の伝記45)』集英社、1978年2月	印刷物	21.6 × 15.6、172p
26	滝瀬源一関連	谷恒生『北の怒涛』集英社、1978年9月	印刷物	19.5 × 14.0、290p
27	滝瀬源一関連	マーク・トウェイン/竹崎有斐訳『王子とこじき(子どものための世界文学の森6)』集英社、1978年	印刷物	21.8 × 15.3、141p
28	滝瀬源一関連	早乙女貢『亀裂(上)』スポーツニッポン新聞社出版局、1979年6月	印刷物	19.3 × 13.5、276p
29	滝瀬源一関連	早乙女貢『亀裂(下)』スポーツニッポン新聞社出版局、1979年6月	印刷物	19.3 × 13.5、309p
30	滝瀬源一関連	化粧扉 早乙女貢『亀裂(下)』スポーツニッポン新聞社出版局、1979年	印刷物	23.5 × 17.0
31	滝瀬源一関連	マーク・トウェイン/竹崎有斐訳『王子とこじき(子どものための世界文学の森6)』集英社、1994年3月(再版)	印刷物	21.8 × 15.3、141p
32	滝瀬源一	カバーイラスト原画 清水一行『巨大企業』徳間文庫、1969年	原画	18.2 × 12.6
33	滝瀬源一	表紙原画「別冊週刊大衆」1970年7月号	原画	21.6 × 23.7
34	滝瀬源一	単行本見返し原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月	原画	27.1 × 39.3
35	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p16	原画	8.9 × 12.1
36	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p54-55	原画	8.6 × 27.8
37	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p58	原画	11.3 × 12.2
38	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p123-124	原画	10.0 × 29.1
39	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p145	原画	18.6 × 12.6
40	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p160	原画	10.0 × 12.7
41	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p194	原画	18.5 × 12.6
42	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p198	原画	11.2 × 12.0
43	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p202-203	原画	11.3 × 28.2
44	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p206	原画	10.0 × 12.7
45	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p232,225	原画	10.0 × 12.8(×2)

	作者名	作品名	形状	サイズ(cm)
46	滝瀬源一	挿絵原画 ジュール・ヴェルヌ/波多野完治訳『海底二万マイル』旺文社(ジュニア図書館)、1970年7月、p234-235	原画	17.5×21.1
47	滝瀬源一	表紙イラスト原画「別冊週刊大衆」1970年9月号	原画	21.4×23.6
48	滝瀬源一	カバーイラスト原画(ボツ原稿) 清水一行『札東時代 赤たん褌』徳間文庫、1970年	原画	18.8×13.2
49	滝瀬源一	カバーイラスト原画 清水一行『札東時代 赤たん褌』徳間文庫、1970年	原画	18.6×13.4
50	滝瀬源一	挿絵原画 笹沢左保「いつになく過去に涙を(前篇)」『勝利』1970年5月号、p48-49	原画	12.5×23.2
51	滝瀬源一	挿絵原画 笹沢左保「いつになく過去に涙を(前篇)」『勝利』1970年5月号、p57	原画	20.2×13.5
52	滝瀬源一	挿絵原画 笹沢左保「いつになく過去に涙を(前篇)」『勝利』1970年5月号、p69	原画	20.2×13.5
53	滝瀬源一	挿絵原画 笹沢左保「いつになく過去に涙を(前篇)」『勝利』1970年5月号、p85	原画	20.1×13.4
54	滝瀬源一	挿絵原画 笹沢左保「いつになく過去に涙を(前篇)」『勝利』1970年5月号、p95	原画	20.2×13.5
55	滝瀬源一	挿絵原画 高木彬光「女か虎か 18」『週刊大衆』1970年5月7日号、p99	原画	11.8×19.8
56	滝瀬源一	挿絵原画 高木彬光「女か虎か 19」『週刊大衆』1970年5月14日号、p99	原画	11.6×19.6
57	滝瀬源一	挿絵原画 高木彬光「女か虎か 26」『週刊大衆』1970年7月2日号、p99	原画	11.6×20.4
58	滝瀬源一	カット原画(3月の女)『小説推理』1974年3月号、p27	原画	17.9×10.9
59	滝瀬源一	挿絵原画 生島治郎「闇に向かって跳べ」『週刊小説』1974年10月11日号、p10-11	原画	8.7×20.6
60	滝瀬源一	挿絵原画 生島治郎「闇に向かって跳べ」『週刊小説』1974年10月11日号、p16-17	原画	13.0×26.7
61	滝瀬源一	カバーイラスト原画 阿部牧郎『ビル街の官能』サンケイノベルズ、1975年	原画	17.2×15.9
62	滝瀬源一	映画ポスター原画「けんか空手 極真拳」1975年8月公開、配給:東映、監督:山口和彦、主演:千葉真一	原画	65.0×46.0
63	滝瀬源一	挿絵原画 藤原審爾「エンタープライズ爆破計画」『週刊小説』1975年1月10・17合併号、p176-177	原画	27.2×38.3
64	滝瀬源一	挿絵原画 藤原審爾「エンタープライズ爆破計画」『週刊小説』1975年1月10・17合併号、p179	原画	25.2×13.0
65	滝瀬源一	挿絵原画 藤原審爾「エンタープライズ爆破計画」『週刊小説』1975年1月24日号、p180	原画	13.3×19.9
66	滝瀬源一	挿絵原画 藤原審爾「エンタープライズ爆破計画」『週刊小説』1975年1月31日号、p120-121	原画	27.2×38.3
67	滝瀬源一	挿絵原画 藤原審爾「エンタープライズ爆破計画」『週刊小説』1975年1月31日号、p128-129	原画	13.7×22.5
68	滝瀬源一	表紙イラスト原画「漫画大探検」1976年1月号	原画	29.2×20.9
69	滝瀬源一	挿絵原画 西村京太郎「ゼロ計画を阻止せよ 後篇」『小説推理』1977年12月号、p254-255	原画	12.5×23.9
70	滝瀬源一	文庫カバー、カバーイラスト原画 清水一行『赤い絨毯』徳間文庫、1978年3月	原画	15.2×11、19.0×13.0
71	滝瀬源一	題字原画 早乙女貢「亀裂」『スポーツニッポン』1978年	原画	19.0×23.1
72	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(11) 仮面の女(11)」『スポーツニッポン』1978年8月9日	原画	9.3×11.8

	作者名	作品名	形状	サイズ(cm)
73	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(17) 仮面の女(17)」 「スポーツニッポン」1978年8月15日	原画	9.5×11.8
74	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(18) 仮面の女(18)」 「スポーツニッポン」1978年8月16日	原画	9.5×11.8
75	滝瀬源一	挿絵原画 J.ゴッドウィン/井上篤夫訳「立体構成 /海洋事件の謎 呪われた船」小説推理」1978 年9月号、p87	原画	10.2×16.8
76	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(42) 聖処女(2)」 「スポーツニッポン」1978年9月9日	原画	9.5×11.8
77	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(43) 聖処女(3)」 「スポーツニッポン」1978年9月10日	原画	9.4×11.9
78	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(67) 影の女(14)」 「スポーツニッポン」1978年10月5日	原画	9.4×11.8
79	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(95) 青い炎(5)」 「スポーツニッポン」1978年11月3日	原画	9.4×11.8
80	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(111) 黒子の女(1)」 「スポーツニッポン」1978年11月20日	原画	9.4×11.8
81	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(127) 黒子の女 (17)」 「スポーツニッポン」1978年12月6日	原画	9.4×11.8
82	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(128) 黒子の女 (18)」 「スポーツニッポン」1978年12月7日	原画	9.4×11.8
83	滝瀬源一	挿絵原画 中園英助「密猟区 前編」小説推理」 1979年1月号、p256	原画	18.8×23.7
84	滝瀬源一	挿絵原画 中園英助「密猟区 前編」小説推理」 1979年1月号、p291	原画	15.7×9.8
85	滝瀬源一	挿絵原画 中園英助「密猟区 前編」小説推理」 1979年1月号、p303	原画	13.3×15.5
86	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(156) 新宿の女 (13)」 「スポーツニッポン」1979年1月5日	原画	9.5×11.8
87	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(167) 唇によだれ (2)」 「スポーツニッポン」1979年1月16日	原画	9.5×11.8
88	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(173) 唇によだれ (8)」 「スポーツニッポン」1979年1月22日	原画	9.5×11.8
89	滝瀬源一	挿絵原画 中園英助「密猟区 後編」小説推理」 1979年2月号、p331	原画	19.0×8.3
90	滝瀬源一	挿絵原画 中園英助「密猟区 後編」小説推理」 1979年2月号、p348-349	原画	13.3×15.3
91	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(184) 唇によだれ (19)」 「スポーツニッポン」1979年2月2日	原画	9.5×11.8
92	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(190) 霧笛(1)」 「スポーツニッポン」1979年2月8日	原画	9.5×11.8
93	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(200) 霧笛(11)」 「スポーツニッポン」1979年2月18日	原画	9.5×11.8
94	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(202) 霧笛(13)」 「スポーツニッポン」1979年2月20日	原画	9.5×11.8
95	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(203) 霧笛(14)」 「スポーツニッポン」1979年2月21日	原画	9.5×11.8
96	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(205) 霧笛(16)」 「スポーツニッポン」1979年2月23日	原画	9.5×11.8
97	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(207) 霧笛(18)」 「スポーツニッポン」1979年2月25日	原画	9.5×11.9
98	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(212) 霧笛(23)」 「スポーツニッポン」1979年3月2日	原画	9.5×11.8
99	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(217) 女と女(2)」 「スポーツニッポン」1979年3月7日、単行本(下)	原画	9.5×11.8

	作者名	作品名	形状	サイズ(cm)
100	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(230) 殺してチョン(1)」「スポーツニッポン」1979年3月20日	原画	9.5×11.8
101	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(最終回) 殺してチョン(11)」「スポーツニッポン」1979年3月31日	原画	9.5×11.8
102	滝瀬源一	カバーイラスト原画 早乙女貢『亀裂(上)』スポーツニッポン新聞社出版局、1979年	原画	21.4×15.0
103	滝瀬源一	カバーイラスト原画 早乙女貢『亀裂(上下)』スポーツニッポン新聞社出版局、1979年	原画	21.3×14.8
104	滝瀬源一	カバーイラスト原画 早乙女貢『亀裂(下)』スポーツニッポン新聞社出版局、1979年	原画	21.5×15.0
105	滝瀬源一	挿絵原画 清水一行「ウエディング・ドレス」小説推理」1980年1月号、p315	原画	13.1×10.3
106	滝瀬源一	カット原画「小説推理」1984年2月号、p15	原画	11.7×14.5
107	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	28.0×23.0
108	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	13.7×12.0
109	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	23.4×20.8
110	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	22.6×19.9
111	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	16.8×15.0
112	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	12.5×12.6
113	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	26.8×20.0
114	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	14.0×23.6
115	滝瀬源一	掲載誌等不明 1967～1975年	原画	16.4×10.4
116	滝瀬源一	タイトル不明 1967～1975年、スクラッチボード	原画	12.0×8.2
117	滝瀬源一	《黒と白》39点組、1967～1975年	原画	99.3×171(額)
118	滝瀬源一	《エロス》3点組、1967～1975年	原画	23.0×15.5、31.2、15.5
119	滝瀬源一	掲載誌等不明 1975年以降	原画	10.0×21.5
120	滝瀬源一	掲載誌等不明 1975年以降	原画	25.2×19.7
121	滝瀬源一	タイトル不明 制作年不明、銅版画原版	その他	12.8×9.0
122	滝瀬源一	タイトル不明 制作年不明、銅版画	その他	12.8×8.8
123	滝瀬源一	挿絵原画 早乙女貢「亀裂(185) 唇によだれ(20)」「スポーツニッポン」1979年2月3日	原画	9.5×11.8

平成23年度収蔵品貸出一覧

No	作家	作品	貸出先	貸出期間
1	野見山 暁治	マドの肖像	平塚市美・下関市美・碧南市藤井美・足利市美術館	23年4月6日～11月22日
2	野見山 暁治	丘(クレーン)	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
3	野見山 暁治	落日	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
4	野見山 暁治	異邦人	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
5	野見山 暁治	ある日	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
6	野見山 暁治	目にあまる景色	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
7	野見山 暁治	ベルギーの炭鉱	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
8	野見山 暁治	工事場	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
9	野見山 暁治	半身像	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
10	野見山 暁治	九月の空	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
11	野見山 暁治	古びた衣装	石橋美術館・ブリヂストン美術館	23年8月23日～24年1月26日
12	池 大雅	比叡山真景図	板橋区立美術館	23年8月30日～10月12日
13	岩田 壮平	花泥棒	高崎タワー美術館	23年9月2日～11月9日
14	古沢 岩美	誘惑	板橋区立美術館	23年11月8日～24年1月12日
15	鳥居 敏文	ポーランドの女	板橋区立美術館	23年11月8日～24年1月12日
16	鳥居 敏文	少年と犬	板橋区立美術館	23年11月8日～24年1月12日
17	中尾 彰	残塁	板橋区立美術館	23年11月8日～24年1月12日
18	久野 和洋	地の風景・かたすみ	アート・ベンチャー・オフィス ショウ	23年12月15日～24年2月22日

平成23年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当美術館では、区のホームページ上に展覧会情報等を掲載している。また、収蔵美術品をデジタルデータ化し、パソコン端末での管理ととをはじめ広く学校教育、生涯学習等の現場で利用していただく目的で、平成16年年度末(平成17年3月)に整備した。

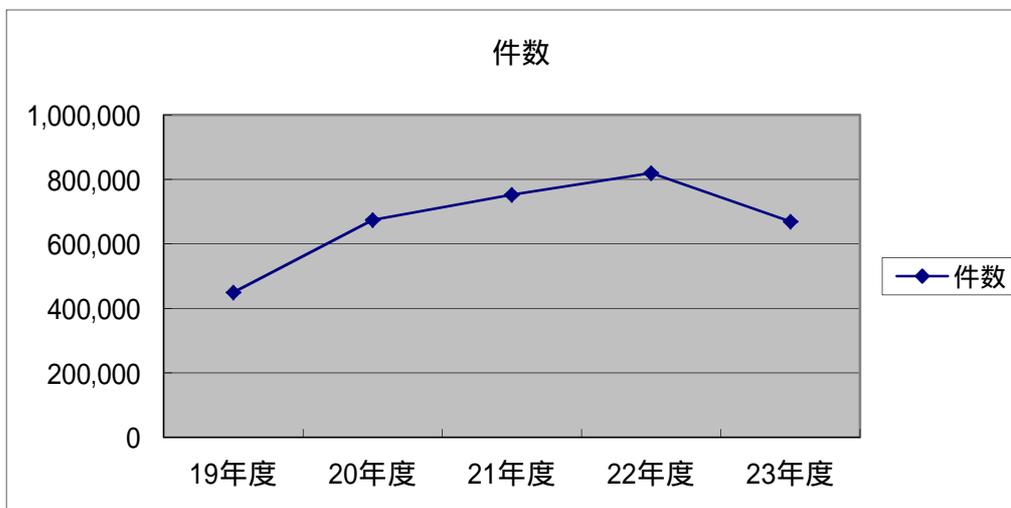
なお、今年度は美術館収蔵品データベースの更新を予定している。

以下は、平成23年度のWebサーバへのアクセス件数

	美術館トップページ		データベース
4月	11,925件	2位	65,105件
5月	8,919件	—	71,560件
6月	8,131件	3位	73,504件
7月	23,994件	1位	74,949件
8月	24,043件	1位	71,708件
9月	19,702件	—	54,937件
10月	12,708件	3位	54,091件
11月	9,791件	—	37,279件
12月	6,259件	3位	45,173件
1月	8,791件	2位	38,491件
2月	9,419件	2位	34,395件
3月	12,116件	1位	47,915件
合計	155,798件		669,107件
平均	12,983件/月		55,759件/月
(平成22年度)	85,868件		819,514件

美術館トップページアクセス数

同じページに対する有効なアクセスを集計している。庁内からのアクセスは、集計結果に含んでいない。順位は練馬区トップページに表示されているアクセスランキングによるもので、3位以上の月を記載。



(4) 施設利用状況

平成23年度 施設利用状況

展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	44	246	32,756	265	92.8
企画展示室	5	31	4,133	31	100.0
合計	49	277	36,889	296	93.6

創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
18	384	32	5,617	474	81.0

施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	128	10.7	最高 5.33倍
	当選	45	3.8	平均 2.84倍
企画展示室	申込	8	-	11・12月の一部貸出 抽選は平成23年6月に行っ た。 倍率 2倍
	当選	4	-	

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) ぐるっとパスの利用状況

平成23年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」とは、東京の美術館・博物館等共通入場券のことである。参加している都内の美術館・博物館計71か所は、各館の入場券を束ねたパス(冊子になっていて、使用開始日から2か月間有効)を1冊2,000円で販売する。当館においても、観覧者と収入の増を見込んで平成23年度から参加している。

平成23年度は、パス219冊(上半期159、下半期60)を売り上げた。また、パスの所持者2,464人が当館を観覧した。

ぐるっとパスの収支

1 支出

(1) 負担金 200,000 円

(2) 郵送料 840 円 上半期売上金をぐるっとパス事務局に納入する際の郵送料

合 計 200,840 円

2 収入

(1) 販売歩合 売上の5% @2,000×219冊×5%=21,900 円

(2) 配分金 パス利用の入館者数(2,464人)に応じた配分金 265,470 円

(3) 負担金返還 + 報償金 - 下半期売上金(下半期売上金は当館の収入とするため)

$200,000 + 10,000 - 120,000 \text{ 円} = 90,000 \text{ 円}$

(4) 下半期売上金 120,000 円

合 計 496,370 円

収入 - 支出 $496,370 - 200,840 = 295,530 \text{ 円}$

平成24年度 事業計画

(1) 展覧会事業

平成24年度 展覧会事業日程(案)

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月8日 6月3日 <49日間>	【有料】 バルビエ×ラブルール展 アール・デコ、色彩と線描のイラストレーション				小野
6月8日 6月17日 <9日間>	【無料】 第58回練馬区美術家協会展	内田	6月8日	【無料】	上山
6月14日 6月19日 <6日間>	(一般貸出)		7月8日	平澤熊一展 うちのめされた時がほんとうに 人生をしっかりと生きるとき	
6月28日 7月8日 <10日間>	【無料】 N+N展2012「感じるアート」	真子	<27日間>		
7月15日 9月9日 <49日間>	【有料】 特別展 生誕100年 船田玉樹 アヴァン・ギャルド日本画に生きた孤高の画人生 展				野地
9月16日 11月25日 <61日間>	【有料】 棚田康司展				小野
11月29日 12月28日 <26日間>	(一般貸出)		11月29日	【無料】	加藤 真子
1月12日 1月16日 <4日間>	中学校生徒作品展	中野		人間国宝 大坂弘道展 正倉院から甦った 珠玉の木工藝	
1月19日 1月24日 <5日間>	小学校連合図工展	中野			
1月26日 1月27日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展	中野	2月11日		
2月2日 2月11日 <9日間>	【無料】 第43回練馬区民美術展	内田	<60日間>		
2月17日 4月7日 <43日間>	【有料】 超然孤独の風流遊技 小林猶次郎展	上山	2月17日 4月7日 <43日間>	【有料】 富田有紀子展(仮称)	上山

24年度も「ぐるっとパス」(前頁参照)に参加

鹿島茂コレクション2 バルビエ×ラブルール アール・デコ、色彩と線描のイラストレーション

開催要項

- 1 開催趣旨 平成23年度よりフランス文学者の鹿島茂氏(1949- / 明治大学教授)の膨大な古書コレクションから連続的に展覧会を開催している。第1回目は、19世紀フランスを代表する挿絵画家、J.J.グランヴィルを紹介した。第2回目にあたる本展では、アール・デコ期を中心に活躍した共にフランス、ナント出身の2人の画家 ジョルジュ・バルビエ(Georges Barbier, 1882 - 1932)とジャン＝エミール・ラブルール(Jean-Emile Laboureur, 1877 - 1943)を取り上げた。

バルビエは、当時の代表的なモード雑誌の挿絵や豪華挿絵本のみならず、映画や舞台の衣装デザインまでも手掛け、その活躍は挿絵画家の領域を越えたものであった。大胆な構図と躍動感、美しい色彩が印象的な作品世界は現在もなお多くのファンを惹きつけている。ラブルールは、バルビエのような色彩豊かな画面とは異なり、シャープな黒線によって構成された版画作品を制作した。様々な版画技法を身につけたラブルールは、1920年代に入ると多くの文学作品の挿絵も手掛けるようになる。あらゆる情景をスピーディー且つファッショナブルなタッチで捉え、人気を博した。本展では、バルビエとラブルール、二人の作品群をほぼ網羅し、対照的とも言えるスタイルの作品世界を紹介した。
- 2 会期 平成24年4月8日(日)～6月3日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 読売新聞社
- 4 後援 フランス大使館
- 5 協賛 ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン
- 6 協力 サントリーホールディングス株式会社
- 7 展示内容 版画、古書(挿絵本)、ポスターを中心とした113種(出品点数約200点)
- 8 図録 図録兼書籍として制作、求龍堂より出版した。
(1、864冊販売、購入率19%)
- 9 観覧料 有料
- 10 イベント 高階秀爾氏、鈴木晶氏、深井晃子氏、鹿島茂氏による特別講演会(計5回)を開催。
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンによるコンサート(計2回)を実施。
ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン会場での鹿島茂氏講演会、キッズプログラムでのワークショップを開催(計2回)。
- 11 観覧者 10,081人(206人/日)当初見込 14,700人(300人/日)
- 12 担当 学芸員 小野寛子

「平澤熊一展」

うちのめされた時がほんとうに人生をしっかり生きるとき

開催要項

- 1 開催趣旨 平澤熊一(ひらさわ くまいち、1908-1989、新潟県長岡市生まれ)は、建築を学ぶために上京。工学院を卒業したのち、川端画学校で洋画を学ぶ。当時そこには柿手春三や井上長三郎らのちに池袋界隈を拠点にシュールレアリスムを推進することになる仲間たちの姿があり、平沢は彼らと共に画家としての道を歩み始めることとなる。

1933年からの約4年間は、絵描きとして頼るものがない台湾に渡り、貧しい生活の中で孤独な絵画修行を行う。帰国後は阿佐ヶ谷や要町など東京を転々としながら、独立美術展に出品しつづけた。しかし太平洋戦争末期、東京が激しい空襲に見舞われると、新潟に疎開。その後、妻の実家のある宇都宮に自ら設計したアトリエを構え、自由美術展を中心に作品を発表した。

本展は、当館に新たに収蔵される油彩画を核に、忘れられた画家・平澤熊一の画業を紹介するもの。台湾各地でスケッチされた風景や現地の人々、日本に帰国してからできた家族や幼い子どもたちの肖像など、平澤の身近な対象を真摯な目でとらえた素描類、それに日々書き記された日記の文章を添えて展示した。

- 2 会期 平成24年6月8日(金)～7月8日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館(2F常設展示室)
- 4 展示内容 平澤熊一の油彩画約40点、水彩・素描など約30点
(所蔵作品のほか、遺族アトリエから作品を借用)
- 5 図録 出品作品を掲載したリーフレットを制作
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント 学芸員とゲスト(作家関係者)によるギャラリートークを開催
- 8 観覧者 6,672人(247人/日)当初見込3,510人(130人/日)
- 9 担当 学芸員 上山陽子

N+N 展 2012

「 触れる 感覚のレッスン 」

開催要項

1. 開催趣旨

4回目となる日本大学芸術学部(日藝)美術学科と練馬区立美術館の共同企画展。今年は「触れる」をテーマに日藝教職員の作品展示を行った。

これはいいなと思える作品に出会えたとき、様々な感覚が鋭敏になり、全身で作品の存在を感じることもある。例えば作品を観るとき「肌で感じる」「心に触れる」という言葉があるように、触覚が視覚と同時に働く場面がある。そもそも観賞体験は、受動的に見えて実は能動的かつ全感覚的なものである。本展では、こうした感覚を呼び覚ますであろう、実際に触れたり動かしたりすることができる作品を中心に紹介し、様々なアートへ「触れる」体験を提供した。なお、この展覧会は平成24年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催された。

2. 会期 平成24年6月28日(木)~7月8日(日)

3. 主催 日大芸術学部・練馬区立美術館

4. 内容 彫刻、遊具、写真など約10点を展示

5. 図録 展覧会終了後、日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作予定

6. 観覧料 無料

7. イベント

ダンス公演「薔薇」江上真子(演劇学科3年生)、創舞：笹山志帆(演劇学科助手)、舞台装置：鞍掛純一(芸術学科教授)、音楽：川上央(音楽学科教授)

6月30日(土)16:00~ 会場：展示室

ワークショップ「ジャイアントメイズをみんなで作って遊ぼう」桑原淳司(デザイン学科教授)
7月7日(土)13:00~14:30 会場：展示室

ワークショップ+演奏会「野菜で楽器を作って演奏しよう」川上央(音楽学科教授)

7月7日(土)16:00~17:00 会場：創作室

講演会「触れる 高村光太郎「感覚の世界」から」高橋幸次(美術学科教授)

7月8日(日)15:00~16:30 会場：視聴覚室

8. 観覧者数 2,125人(213人/日)当初見込1,300人(130人/日)

9. 担当 学芸員 真子みほ

特別展「生誕 100 年 ふなだぎょくじゅ 船田玉樹

異端にして正統、孤高の画人生。」展

開催要項

- 1 開催趣旨 日本画家・船田玉樹(1912～91)の没後初の大々的回顧展。
広島県呉市に生まれた玉樹は、最初は油画を学ぶために上京、琳派の華麗な作品を見て感銘、すぐに日本画に転向した。速水御舟(1894-1935)に師事するが、まもなく没したため、その後は小林古径に師事して、謹厳な線描と端麗な色彩を駆使した日本画表現を学んだ。その後、昭和 13 年(1938)からは岩橋英遠や丸木位里らと「歷程美術協会」を結成して、シュールレアリスムや抽象主義などを積極的に取り入れ、日本画を基礎にした前衛表現を戦中まで追究した。
しかし、戦後は、郷里広島にひきこもって創作を続け、岩絵具や墨のみならず油彩やガラス絵など様々な画材とひたすら向き合った作品を残した。その作品は、御舟や古径の芸術の精髓を正統に受け継ぎ、精緻にして絢爛、端麗にして華美、そして豪胆そのものであり、驚くことに、晩年にいたってますます豊かに華やかになっている。
本展は、晩年まで制作された多彩な作品約 200 点を一挙公開し、絵が人生そのものだったこの特異な画家の全容にせまるものである。
- 2 会期 平成24年年7月15日(日)～9月9日(日)
*巡回： 広島県立美術館 平成25 年1月14日(月・祝)～2月17日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 朝日新聞社
- 4 助成 芸術文化振興基金
- 5 図録 共同制作にて販売中
- 6 観覧料 有料
- 7 イベント 七弦琴によるコンサート、テルミン・コンサート
学芸員とゲストによるギャラリートーク
声優による読み語り(貫井図書館共同主催)
- 8 観覧者数見込 9,000人(184人/日)
- 9 担当 主任学芸員 野地耕一郎

「棚田康司 - たちのぼる。」展

開催要項

- 1 開催趣旨 彫刻家、棚田康司を紹介する。2001年に文化庁の芸術家在外研修員として派遣されたドイツ、ベルリンでの滞在を経て、棚田の作風は一変した。自らの頭部などを利用していった寓意的な人物像から、他者へと目を向けた人物像へと移行した。それは「子ども」という対象へ焦点を完全に絞り込んだものであった。この主題は現在も続いているが、棚田は単に造形的興味から彼らの像を彫り続けているのではなく、しばしば社会において犠牲者となる「子ども」という存在への棚田自身の強い思い入れがあると言える。棚田の意識は、現代社会を生きる「子ども」たち それは我々の核であるのかもしれない を捉え、作家自身が自らと向かい合う術としているとも、また我々に人間をむき出しにして突きつけているとも捉えられるのではないだろうか。

本展では、これまで一貫して「人間」を、そして「子ども」を彫り続ける棚田の一連の作品群を、新作、及び制作過程のスケッチなども含め網羅的に紹介する。

< 棚田康司略歴 >

1968年、兵庫県生まれ。93年、東京造形大学卒業。95年、東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。2001年、文化庁芸術家在外研修員としてドイツに7ヶ月滞在。05年、「第8回岡本太郎記念現代芸術大賞」特別賞受賞。出品歴多数、昨年は「棚田康司 トー(らせんとえんてい)」展(スパイラルガーデン、東京)を開催。

- 2 会期 平成24年9月16日(日)~11月25日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日経新聞社 / フジテレビジョン
- 4 助成 花王財団
- 5 展示内容 木彫を37点、スケッチなどの資料約30点
- 6 図録 図録兼書籍として制作、青幻舎より出版する。
- 7 観覧料 有料
- 8 イベント 会期中、講演会、アーティストトーク、ワークショップ等を実施する。
- 9 観覧者見込 10,000人(164人/日)
- 10 担当 学芸員 小野寛子

「人間国宝 大坂弘道展」 正倉院から甦った珠玉の木工芸

開催要項

1 開催趣旨

大坂弘道（おおさかひろみち1937 生）は 1997 年、重要無形文化財（人間国宝）に認定された練馬区在住の木工芸作家です。

鳥取県倉吉市に生まれた大坂は東京学芸大学美術科卒業後、練馬区内の中学校で教員を務め、34 歳頃から本橋玉斎、永見晃堂（1906 - 75、人間国宝）、竹内碧外（1896 - 1986）らに師事、薫陶を受け、唐木細工、指物などの木工技法を独学し研鑽を積みます。1980 年に宮内庁から正倉院宝物の模造を委嘱されてより、教員を辞して調査・研究に没頭、試行錯誤を重ね、ついに失われた技法の再現に成功。1986 年「紫檀木画箱」の復元模造を完成し、正倉院に納めています（2 点製作し、内 1 点は当館に寄託）。

東南アジア系の黒柿や紫檀、黄楊などを素材に、生活工芸とは一線を画した王朝風のクラシカルなスタイルを守りながら、透かし彫りや金属象嵌など新しい技術や復元した技法を駆使して、これまでの木工芸の枠にはまらない精緻かつ多彩な、大坂独自の世界を展開しています。年に 1、2 点しか完成を見ない新作には、必ず新しい技法を研究し、取り入れるという姿勢には大坂の気概が感じ取れます。

平成 15 年を境に大坂は作品を公開しておらず、近作の約 20 点は未知の領域ともいえる作品群です。その初公開と目を見張る変貌ぶりも本展の見どころの一つです。

40 年亘る制作活動から生み出された作品のほとんどにあたる、約 45 点が当館に寄託されたことを記念して大坂の作品の全貌を紹介するものです。

- | | |
|----------|---|
| 2 会期 | 平成 24 年 11 月 29 日（木）～ 2 月 1 1 日（月・祝） |
| 3 主催 | 練馬区立美術館（2 F 常設展示室） |
| 4 内容 | 寄託を受けた 45 点の作品に加え、新作 5 点、東京国立近代美術館工芸館所蔵品 5～6 点。下図、スケッチ類、道具ほか。 |
| 5 観覧料 | 無料 |
| 6 図録 | 制作する |
| 7 イベント | 作家によるギャラリートーク。
作家ほかによるワークショップ。ほか |
| 8 観覧者数見込 | 10,800 人（180 人/日） |
| 9 担当 | 学芸員 加藤陽介 |

「超然孤独の風流遊技 小林猶治郎展」

開催要項

- 1 開催趣旨

「こんなに生きて きまりがわるい」が口癖だったという画家・小林猶治郎(こばやし・なおじろう：1897-1990年)。25歳までと余命を宣告されながらも、医師の言葉に反して93歳まで絵を描き続けた。飄々と画家人生を歩んだ猶治郎を紹介する公立美術館では初の展覧会である。

猶治郎は東京の下町・墨東向島で少年時代を過ごす。肺を病み1918年に慶応大学普通部を中退してからは、残りの人生は好きな絵を描いて過ごそうと、葵橋洋画研究所や日本美術学校洋画科で学びなおす。1927年第8回帝展に《なぎさ》が初入選。牧野虎雄に師事し、槐樹社展ならびに旺玄会展を中心に発表した。

伸びのある力強い筆触で描かれた初期作《沼べり》から、造形的な実験と静謐な詩情を感じさせる《作品15(印象)》、それに「油彩日本画」と称した俳味を強く感じさせる晩年の作まで、油彩画、素描など約80点を一堂に展覧する。また子どもたちとの交流し、まぶしい感性を受けとめた《童心双六》のような愛情あふれる作品からは、生涯を通して子どもへの視点を持ち続けた猶治郎という人物をうかがう事ができるだろう。

本展は、晩年過ごした練馬の画室に残された作品を調査し、修復作業を経て展示するものである。猶治郎が語る「超然孤独の風流遊技」の全貌を明らかにする。
- 2 会 期 平成25年2月17日(日)～4月7日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館 / 読売新聞社 / 美術館連絡協議会
- 4 協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 5 内 容 小林猶治郎の油彩画、素描、資料など80点程度。
- 6 図 録 制作する
- 7 観覧料 有料(＊富田有紀子展と共通観覧チケット)
- 8 イベント 学芸員による展示解説など予定
- 9 観覧者数見込 4,440人 (120人/日)
- 10 担 当 学芸員 上山陽子

「富田有紀子展」(仮称)

開催要項(案)

- 1 開催趣旨 富田有紀子(とみた・ゆきこ/1958年東京生まれ)を特集展示する。
高校在学中から旺玄会展に出品していた富田は、1980年に女子美術大学絵画科を卒業。平面作家の登竜門のひとつ「VOCA'96 現代美術の展望展」で奨励賞を受賞し注目を集める。この頃は、やわらかな襞が気を孕みひろがっていくような抽象画を主に描いていたが、近年では色鮮やかな花や果実を画面いっぱいに描き出し、まわりの空間まで暖かな光に包まれるような美しい油彩画を発表している。ときにそれらは一つの壁面上で複数組み合わせられ、清らかで力強い印象を観るものに与える。
富田は幼い頃から祖父・小林猶治郎に愛され、自然と絵の世界に接近して行った。企画展「小林猶治郎展」と同時に開催する本展は、現代美術家・富田有紀子の魅力を紹介するとともに、大正から昭和にかけて活躍した祖父と、今日注目のアーティストの時空を越えた二人の共演となる。
- 2 会 期 平成25年2月17日(日)~4月7日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館(2F常設展示室)
- 4 内 容 富田有紀子の油彩画など50点程度。
- 5 図 録 リーフレットを制作する
- 6 観覧料 有料 (*小林猶治郎展と共通観覧チケット)
- 7 イベント 学芸員と出品作家による展示解説など予定
- 8 観覧者数見込 4,440人 (120人/日)
- 9 担 当 学芸員 上山陽子

(2)教育普及事業

平成24年度 教育普及事業計画(案)

館内事業

展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	鹿島コレクション2 パルピエ×ラブルール 関連ワークショップ 講師:松尾由佳(アートディレクター・デザイナー)	4月28日(土) 13:30~17:00	1回	小学4年生以上	20名	20名
2	鹿島コレクション2 パルピエ×ラブルール 関連ワークショップ 講師:網中いづる(イラストレーター)	6月3日(日) 14:00~17:00	1回	小学生以上	20名	19名
3	N+N展関連ワークショップ「大きな迷路の遊具ジャイアントメイズを作って遊ぼう」 講師:桑原淳司(日本大学芸術学部デザイン学科教授)	7月7日(土) 13:00~14:00 14:15~15:00	2回	小学生	各回10名	計16名
4	N+N展関連ワークショップ+演奏会「野菜で楽器を作って演奏しよう」 講師:川上央(日本大学芸術学部音楽学科教授)	7月7日(土) 16:00~17:00	1回	幼児~大人	30名	26名
5	船田玉樹展関連ワークショップ「ぼくたち墨戯団!水墨画で扇子を作ろう」 講師:当館学芸員	7月27日(金) 28日(土) 10:30~12:00 14:00~16:00	4回	小学1年生~3年生	各回20名	計43名
6	船田玉樹展関連講座「水墨画実技 墨で木を描こう」 講師:当館学芸員	7月29日(日) 8月3日(金) 10:30~17:00	2回	小学生	各回20名	計38名
7	船田玉樹展関連講座「日本画を描こう!和紙のパネル貼りから着彩まで」 講師:当館学芸員	8月11・12日 8月18・19日 10:30~17:00	2回 (各2日間)	小学4年~ 中学3年生	各回20名	計10名
8	棚田康司展関連講座関連ワークショップ	10月	1回 (2日間)	小学5年生~大人	15名	
9	大坂弘道展関連講座 講師:大坂弘道	1月	1回	未定	未定	

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	平澤熊一展	6月9日(土)	1回	自由参加		65名
		6月16日(土)	1回	自由参加		30名
		6月23日(土)	1回	自由参加		20名
2	船田玉樹展	7月21日(土)	1回	自由参加		130名
		8月4日(土)	1回	自由参加		100名
		9月8日(土)	1回	自由参加		
3	棚田康司展	9~11月(土)	未定	自由参加		
4	コレクション展 大坂弘道展	12月(土)	未定	自由参加		
5	小林猶治郎展	2~4月(土)	未定	自由参加		

コンサート・ライブパフォーマンス

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	鹿島コレクション2 パルピエ×ラブルール 関連ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポンによるスペシャルコンサート 出演:亀田賢(ピアノ)、奥村智洋(ヴァイオリン)	4月22日(日)・29日(日) 15:00~	2回	自由鑑賞		98名 90名
2	N+N展関連ダンス公演「薔薇」 出演:江上真子(日本大学芸術学部演劇学科3年生)、 創舞:笹山志帆(演劇学科助手)、舞台装置:鞍掛純一(芸術学科教授)、音楽:川上央(音楽学科教授)	6月30日(土) 16:00~	1回	自由鑑賞		50名

3	船田玉樹展関連コンサート 「幻の古楽器 七弦琴コンサート」 出演：楊鵬(中国七弦琴吳派伝人)	7月28日(土) 15:00～	1回	自由鑑賞		85名
4	船田玉樹展関連コンサート 「幻惑の楽器 テルミンコンサート」 出演：Ipsos fact「船田奇岑(テルミン)、RAKUSU PROJECT、西田彩による電子音楽ユニット」	8月25日(土) 15:00～	1回	自由鑑賞		
5	船田玉樹展関連読み語り(貫井図書館共同主催) 出演：銀河万丈(声優)	9月1日(土) 15:00～	1回	70名		
6	棚田康司展関連読み語り(貫井図書館共同主催) 出演：銀河万丈(声優)	10月7日(土) 15:00～	1回	70名		

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
2	トコトコ美術館	1月	1回	3歳～6歳 + 保護者	各回 5組	
3	拡大！美術館	1月	1回	小学1・2年生 以上	各回 5名	

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	鹿島コレクション2 バルビエ×ラブルール 関連講座 「狂乱の時代 1920年代のフランス美術」 講師：高階秀爾氏(西洋美術振興財団理事長、大原美術館館長)	4月21日(土) 14:30～16:00	1回	中学生 以上	70名	66名
2	鹿島コレクション2 バルビエ×ラブルール 関連講座 「好きなものは何でも蒐めたい！ コレクションの楽しみ」 講師：鹿島茂氏(フランス文学者、明治大学国際日本学部教授)	4月15日(日) 14:30～16:00	1回	中学生 以上	70名	68名
3	鹿島コレクション2 バルビエ×ラブルール 関連講座 「バルビエ×ラブルール 色彩と線描のイラストレーション」 講師：鹿島茂氏(フランス文学者、明治大学国際日本学部教授)	5月6日(日) 14:30～16:00	1回	中学生 以上	70名	71名
4	鹿島コレクション2 バルビエ×ラブルール 関連講座 「装飾芸術の華 アールデコファッションとファッションプレート」 講師：深井晃子氏(京都服飾文化財団チーフ・キュレーター)	5月19日(土) 14:30～16:00	1回	中学生 以上	70名	61名
5	鹿島コレクション2 バルビエ×ラブルール 関連講座 「踊る絵画、動く色彩/バレエ・リュスの世界」 講師：鈴木晶氏(法政大学教授、早稲田大学大学院客員教授)	5月26日(土) 14:30～16:00	1回	中学生 以上	70名	68名
6	N+N展関連講座「触れる 高村光太郎「触覚の世界」 から」 講師：高橋幸次(日本大学芸術学部美術学科教授)	7月8日(日) 15:00～16:30	1回	高校生 以上	60名	33名
7	棚田康司展関連講座関連特別講演会	10月～11月	3回	未定	未定	
8	大坂弘道展関連講演会	1月(土)	2回	中学生 以上	70名	

）美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	美術史 講師：未定	9～10月	2回	中学生 以上	各回 60名	
2	絵画実技 講師：未定	11月	1回 (2日間)	中学生 以上	15名	
3	デッサン 講師：黒石千恵子(女子美術大学日本画研究室助手)	1月	1回 (2日間)	中学生 以上	20名	
4	立体実技 講師：未定	2月	1回	中学生 以上	15名	

5	おでかけ美術館 講師:当館学芸員	3月	2回	小学4~6年生	各回10名	
---	------------------	----	----	---------	-------	--

） 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	「3つのかんけいもの・おと・からだ」 講師:東山佳永(踊り手)、齋藤紘良(作曲家)、富井大裕(美術家) 身体・音・造形を組み合わせた連続ワークショップ。最終日の午後にはロビー又は屋外で簡単なパフォーマンスを行う。	6月23日(土)、7月21日(土)10:30~12:00 8月4日(土)10:30~15:00	1回 (3日間)	4~6歳 (未就学児)	20名	21名
2	四季のみじたくシリーズ 夏のみじたく 講師:イシイリョウコ(イラストレーター)、西脇(アクセサリーデザイナー)	7月7日(土) 11:30~17:00	1回	小学4年生以上	20名	18名
3	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ遊び	8月5日10:30~12:30 14:00~16:00 8月10日、17日10:30~12:30	4回	5歳~ 小学3年生	各回10名	38名
4	四季のみじたくシリーズ 秋のみじたく 講師:小野奈那子(フォトグラファー)	9月22日(土) 14:00~17:00	1回	小学4年生以上	15名	
5	四季のみじたくシリーズ 冬のみじたく 講師:未定	11月(土)	1回		15名	
6	四季のみじたくシリーズ 春のみじたく 講師:未定	3月(土)	1回		15名	

） その他

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	軽井沢お泊りワークショップ 講師:伊藤さち(作家)、中村圭佑(内装、家具デザイナー) ベルデ軽井沢で行う1泊2日のワークショップ2回目。	11月3日(土) ~4日(日)	1回 (2日間)	小学生以上	20名	

学校関連事業

） スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

- 団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
- 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設全体を紹介する
- 職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
- 職場訪問 職場体験の事前学習として来館する生徒による館内職員へのインタビューなどを受ける
- 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

） ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。
平成24年度は4回開催する。

	展覧会名	開催予定日	参加者
1	鹿島コレクション バルビエ×ラブルール	4月17日(火)	5名
2	船田玉樹展	7月24日(火)	10名
3	棚田康司展	9月25日(火)	
4	大坂弘道展	12月4日(火)	
4	小林猶次郎展	2月22日(火)	

） スクールミュージアム スクールプログラム で使用予定

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

今後の展覧会について(平成 25 年度検討案)

「20 世紀の画狂人 牧野邦夫」展(仮称)

平成 25 年 4 月 14 日(日)～6 月 2 日(日) 予定

牧野邦夫(1925～86 年)は、東京生まれ、東京美術学校油画科を卒業。戦後激動する美術界の新たな潮流に流されることなく、まして団体に属して名利を求めることなどからは遠く身を置いた牧野は、常に高度な油彩の技術を研ぎ、胸中に沸き起こる先鋭で濃密なイメージを描き続けた。レンブラントへの憧れを生涯持ち続け、北方ルネサンス的なリアリズムと日本の土俗性との葛藤という点では、岸田劉生の跡を継ぐ者という見方も出来る。

没後 25 年を機に、牧野が精魂こめて描き遺した作品群を再度調査し直し、1990 年の遺作展以来、より充実度を増しての公開を目指すものである。

(共催:日本経済新聞社)

「練馬の宝 コレクションの精華」展(仮称)

平成 25 年 6 月 7 日(金)～7 月 7 日(日)予定

当館の開館 30 年にむけ、2,400 点を越える収蔵作品の中から順次、名作・話題作・隠れた傑作などを精選し紹介していくシリーズ第 1 弾。

「鹿島茂コレクション3:マルタン×ルパップ×マルティ パルピエのライバルたち」(仮称)

平成 25 年 7 月 14 日(日)～9 月 8 日(日)予定

平成 23 年度よりフランス文学者の鹿島茂氏(1949- / 明治大学教授)の膨大な古書コレクションから連続的に展覧会を開催している。第 1 回目は、19 世紀フランスを代表する挿絵画家 J.J.グランヴィルを紹介、第 2 回目は、アール・デコ期を中心に活躍した 2 人の画家 ジョルジュ・バルピエ(Georges Barbier, 1882 - 1932)とジャン＝エミール・ラブルール(Jean-Emile Laboureur, 1877 - 1943) を紹介した。第 3 回にあたる本展では、前回紹介したバルピエと同時代に活躍した 3 人のイラストレーター シャルル・マルタン(Charles Martin, 1848-1934)、ジョルジュ・ルパップ(Georges Lepape, 1887-1971)、アンドレ・エドゥアール・マルティ(André Édouard Marti, 1882-1974)を取り上げる。

(共催:読売新聞社、美術館連絡協議会)

「生誕 120 年 宮 芳平 野の花のように」展(仮称)

平成 25 年 9 月 15 日(日)～11 月 24 日(日)予定

新潟県魚沼に生まれた宮芳平(1893～1971 年)は、東京美術学校に学んだが、文

展落選時に審査員長であった森鷗外を訪ねたことから、二人の交流がはじまり、宮をモデルとした鷗外の短編小説「天寵」が生まれた。1915年の第9回文展にはアールヌーボーを取り入れた象徴派風の点描画による作品《海のメランコリー》が入選。初期にはキリスト教的雰囲気をもった制作を続け、やがて1923年に長野県諏訪高等女学校の美術教師として赴任し、65歳で退職するまで教職を務めながら、自然を対象に主観的風景画を描き続けた。本展は生誕120年を記念し、生涯にわたる宮の油彩画作品、素描、銅版画、ペン画などにより、その画業を回顧する。茅野市美術館、島根県石見美術館、新潟県立近代美術館、豊科近代美術館を巡回する予定。
(共催：読売新聞社、美術館連絡協議会)

「渡辺千尋 グラフィックと銅版画の世界」展(仮称)

平成25年11月30日(土)～平成26年2月9日(日)予定

1944年東京に生まれた渡辺千尋は、桑沢デザイン学校でグラフィックを学び、当初はデザインや挿画の仕事に携わったが、かたわら銅版画の制作をはじめ、1978年日本版画協会奨励賞を受賞し、チェコ国立版画美術館に「象の風景」シリーズ全作品が買い上げられるなど、2008年に急逝するまで銅版画家として活躍した。また、『ざくろの空 頓珍漢人形伝』(第1回蓮如賞受賞)、『殉教の刻印』(第8回小学館ノンフェクション大賞優秀賞受賞)などを著した文筆家としても知られる。本展では、初期のグラフィックの仕事から寄贈を受けた銅版画を中心に渡辺の遺業を紹介する。

「野口哲哉の武者部類図鑑」展(仮称)

平成26年2月16日(日)～4月6日(日)予定

1980年生まれ野口哲哉は、実際の製作と同じ手順でミニ甲冑を作り、人形に着せて、その武者たちの物語を紡ぎだす。洒脱と迫真を相持った美術家である。南蛮渡来のシャネルのマークを家紋とした甲冑を身にまとった紗鎌家の武者像「シャネル侍着甲座像」がある一方で、兜に付いたプロペラ型の立物で空中を浮遊する武者の絵画作品「ホバリングマン 浮遊図」は巧妙に古びた画面を演出している。一貫して鎧武者をモチーフに制作する野口作品を中心に、彼の発想の原点となった古今の美術作品や写真、商業デザインなどを併せて展示し、時代を超え、現代へと脈々と続くカッコいい鎧武者の系譜を辿る展覧会。

(共催：未定)

美術の森緑地の整備について

美術の森緑地を、子どもから大人まで楽しめるテーマの彫刻等を配置するなど、美術館の屋外展示・イベント機能を有する、人が集う場へと機能を充実するため、以下のとおり整備する。

1 美術の森緑地の現況(裏面：位置図・現況図)

所在地 貫井一丁目36番26号

敷地面積 約1,907㎡

開園 昭和60年10月

2 整備スケジュール(予定)

平成24年度 基本構想策定

平成25年度 設計

平成26年度 整備・開設

3 基本構想の策定

(美術の森緑地整備基本構想策定委員会を設置して基本的な整備内容、管理手法を策定する。)

(1) 委員構成案(11名)

学識経験者2名、地元団体2名、障害者団体1名、公募区民3名、
区職員3名(地域文化部長・都市整備部東部地域まちづくり課長・土木部計画課長)

(2) 基本構想策定のスケジュール予定

平成24年 6月 区民公募(区報6月1日号)

7～11月 策定委員会開催(4回程度)

7月25日 第1回基本構想策定委員会開催(実施済)

9月12日 第2回基本構想策定委員会開催

10月中旬 第3回基本構想策定委員会開催

11月中旬 第4回基本構想策定委員会開催

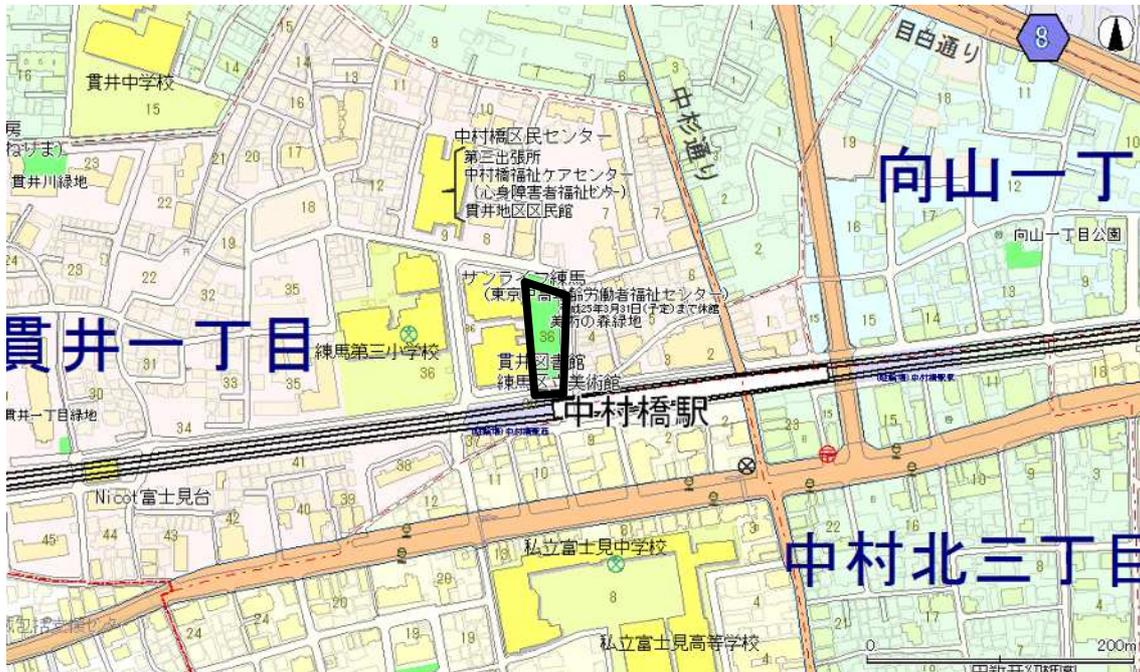
12月～ 基本構想素案の策定

平成25年 1月 区民意見反映制度

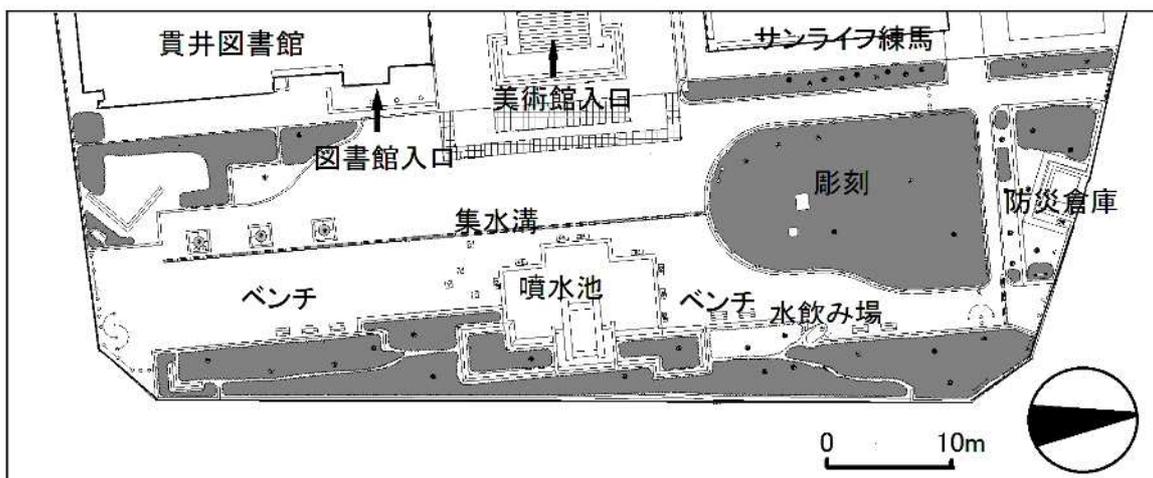
2月 基本構想案策定

3月 基本構想策定

美術の森緑地



位置図



現況図